

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-186	高等学校	国語	論理国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1.編修の基本方針

①言葉による見方・考え方を働かせ、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

- ・各単元扉に、その単元での学習目標を示すとともに、教材ごとに学習する主な目標も示しました。また、読解教材の「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・「探究編」に言語活動教材を配置し、その活動と読解教材との関連を図ることで、「書く」「読む」の学習が、有機的・効果的に行えるようにしました。

②論理的思考力や伝え合う力を育み、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。

- ・論理的思考力を身につける教材として、文化・社会・科学などの分野の評論をバランスよく採録、配置しました。
- ・「論理の力」と題した教材では、論理的思考力を養うための学習を重点的に行えるようにしました。さらに、読解教材の「学習の手引き」に設けた「論理の力」の課題から、「論理の力」の教材にリンクさせ、関連づけて扱えるようにしました。
- ・「言葉のトレーニング」と題した教材では、特に「論理の力」や「探究編」の教材での学習と関連するものとして、さまざまな文章を読んだり書いたりする力を養う教材を採録しました。
- ・言語活動教材の学習過程や、読解教材の「学習の手引き」に設けた「言語活動」の課題において、話し合ったり、書いたものを読み合ったりする活動を取り入れることにより、「書く」「読む」の学習の中で伝え合う力を養えるようにしました。

③教材本文とコラム・附録とを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

- ・読解教材には「関連トピック」を掲げ、関連する資料や文章を探すヒントとなるキーワードを示しました。
- ・「論理の力を鍛えよう」や「文章を読み比べるために」、「図像を読み解くために」といったコラムでは、論理的な考え方や文章・図像の読み解き方について、分かりやすく示しました。
- ・「思考への扉」と題したコラムのシリーズでは、読解教材本文と関連づけながら、考えを深めるための切り口を提示しました。
- ・附録には、「評論読解へのアプローチ」「論文・レポートの種類と構成」「思考ツール」といった資料を用意し、多様な学習に対応できるようにしました。
- ・読書に親しみ教養を高めるために「読書案内」を掲載し、掲載教材に関連するテーマの図書を紹介しました。
- ・附録に掲載した「この教科書で学ぶこと」では、「書くこと」「読むこと」の各教材について、どんな事項を学習するのかを一覧で示し、学習の見通しや振り返りに生かせるようにしました。

2.対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
I 部	1 思考のはじまり	<ul style="list-style-type: none"> ・ソクラテスによる思考の比喩を通して、哲学的に考える方法やその意義について論じる評論を用意しました。(第1号) ・ミロのヴィーナスの鑑賞を通して、そこに普遍的な美を感じる理由を考察する評論を用意しました。(第1号) 	→8～13ページ →14～20ページ
	2 新たな視点	<ul style="list-style-type: none"> ・現代アートの実例などを踏まえて、料理が芸術と見なされてこなかった理由の妥当性について、批判的に考察する評論を用意しました。(第1号) ・事実を観察するという行為は、観察時の状況や観察者の持つ背景知識によって左右されることを述べる評論を用意しました。(第1号) 	→24～33ページ →34～40ページ
	3 人間を見つめる	<ul style="list-style-type: none"> ・「分人」という概念をもとに人間関係の在り方を考察し、「私」という存在は常に他者との相互作用の中にあると述べる評論を用意しました。(第3号) ・「キャラ」という観点から現代の人間関係の在り方を論じ、自らの単独性を得るためにはリアルな人間関係を歩んでいくしかないと述べる評論を用意しました。(第3号) 	→42～51ページ →52～60ページ
	4 世界と向き合う	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的に整序された語りから失われるものに目を向け、圧倒的な体験を語る・聞くときの姿勢について述べる評論を用意しました(第5号) ・個人が世界から見出した法則の体系を「世界の理論」と名付け、その観点から科学と文学の共通点・相違点を論じる評論を用意しました。(第2号) 	→64～72ページ →73～79ページ
	5 学問のまなざし	<ul style="list-style-type: none"> ・「リスク」は自由のもとで決定がなされる場面では常に存在すると述べ、私たちの社会に不安が満ちているのは近代という時代の根本的な性質に原因があると述べる評論を用意しました。(第1号) ・「環境」は常に何者かにとっての「環境」であるという認識から出発し、環境問題の捉え方について再考する評論を用意しました。(第4号) 	→84～92ページ →93～102ページ
	6 私たちの社会	<ul style="list-style-type: none"> ・「する」価値と「である」価値という原理が、日本社会の諸問題を分析するうえで有効であることを述べる評論を用意しました。(第3号) ・トグウィルが指摘した「民主的な社会」と「高尚な学問」との緊張関係を踏まえ、現代社会における科学の在り方を論じる評論を用意しました。(第3号) 	→104～117ページ →118～129ページ
	7 イメージを読む	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人の伝統的で独自の美への感受性が、現代の我々の生活や行動に生き続けていることを述べる評論を用意しました。(第5号) ・中世ヨーロッパで作られた地図を例に挙げながら、地図とは、異なる世界像を持つ人々の、世界に対する異なる理解を表現していると述べる評論を用意しました。(第1号) 	→132～145ページ →146～152ページ
	論理の力	<ul style="list-style-type: none"> ・「論理」とは何かということについて学び、論理的な思考をする態度を養う教材を用意しました。(第1号) ・接続表現の意義と使い方を学び、文章の論理的関係を適切につかむ力を養う教材を用意しました。(第1号) ・論証の説得力を「根拠」と「導出」という観点から分析し、適切に論証を把握する力を養う教材を用意しました。(第1号) ・文章の「問い」と「答え」の構造に注目し、「答え」に当たる中心的主張を適切に取り出す力を養う教材を用意しました。(第1号) ・質問することの意義や質問の種類を学ぶことを通して、適切に質問する力を養う教材を用意しました。(第1号) 	→156～157ページ →158～163ページ →164～167ページ →168～171ページ →172～176ページ

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
Ⅱ 部	1 言葉を再考する	<ul style="list-style-type: none"> 漢字やフランス語を学んだ体験などから、異なる言語を行き来することについて考察する評論を用意しました。(第5号) 言葉により世界が分節され、事物が生み出されることから、言葉は私たちの意識を形成し、世界創造の根源となると論じる評論を用意しました。(第1号) 	<p>→178～185ページ</p> <p>→186～193ページ</p>
	2 近代という時代	<ul style="list-style-type: none"> 近代科学の自然観には生態系の維持と保護に反する発想が含まれており、それによって環境問題は生じてきたと述べる評論を用意しました。(第4号) 現代社会を生きる私たちは、異世界を知ることによって現代社会の「〈自明性の檻〉」から解放され、新しい社会をつくる可能性を探ることができる」と説く評論を用意しました。(第1号) 	<p>→196～203ページ</p> <p>→204～213ページ</p>
	3 メディアを問い直す	<ul style="list-style-type: none"> 人間と情報の関係が大きく変化した現在、かつて本が担っていた機能を更新させる方法を考えなければならないと述べる評論を取り上げ、更にテーマの関連する評論を2本用意しました。(第1号) 	→216～230ページ
	4 表現の効用	<ul style="list-style-type: none"> 注意書き文書の表現を分析し、文章の「形」には文章中の「時間」の流れや読者への印象を操作する力があると論じる評論を用意しました。(第1号) アンケート実験の回答結果を通して、人間の持つ「損失回避」という性質を、行動経済学の観点から説明する評論を用意しました。(第1号) 	<p>→232～241ページ</p> <p>→242～252ページ</p>
	5 通念を疑う	<ul style="list-style-type: none"> 肯定的に語られる「シェア」の負の部分の考察することで「シェア」の本質を提示し、「シェア」概念の可能性を再検討する評論を用意しました。(第3号) 環境負荷への対応を誤り、深刻な結果を招いた原始社会の例などを挙げ、原始社会を客観的に捉える必要性を説く評論を用意しました。(第4号) 	<p>→254～263ページ</p> <p>→264～270ページ</p>
	6 困難な時代に	<ul style="list-style-type: none"> 社会・文化が壊れないためには、民主制・立憲制という理念、それを下支えする寛容の精神、煩雑さへの耐性が必要だと述べる評論を用意しました。(第3号)(第5号) フィクションは情報伝達における分業の在り方を描いていると述べ、情報技術の発展がフィクションにもたらす影響を論じる評論を用意しました。(第1号) 	<p>→272～280ページ</p> <p>→281～292ページ</p>
	7 人間のありかた	<ul style="list-style-type: none"> 「意志」を持つロボットとは、行動決定の仕組みがブラックボックス化され、「迷う」ロボットでなければならないと述べる評論を用意しました。(第1号) 他者に対する暴力は人間が持つ虚栄心に起因するとして、欲望的存在である自己の在り方を変容させる倫理的努力が必要であると説く評論を用意しました。(第2号)(第3号) 	<p>→298～310ページ</p> <p>→311～320ページ</p>
	言葉のトレーニング	<ul style="list-style-type: none"> 生物学の論文についての解説記事を題材として、探究した成果を筋道立てて分かりやすく伝える方法について考える教材を用意しました。(第1号) 地方都市の人口推移を、統計資料をもとに論じた文章を取り上げ、資料に基づいて筋道立てて論じる方法を考える教材を用意しました。(第1号) 人口問題に関する文章と、それに関連するさまざまな統計資料を取り上げ、複雑なテーマについて多様な観点から問いを立て、考察する方法を学ぶ教材を用意しました。(第1号) 「やさしい日本語」という概念を題材として、誰にでも分かりやすい表現の在り方を考える教材を用意しました。(第3号) 	<p>→322～327ページ</p> <p>→328～335ページ</p> <p>→336～345ページ</p> <p>→346～354ページ</p>
	探究編	<ul style="list-style-type: none"> 裁判員制度を題材として取り上げ、集めた資料を整理する活動を通して、社会の一員としての自覚を促す教材を用意しました。(第3号) 高校生の読書量をテーマに、仮説を立てて検証する活動を通して、読書習慣を振り返る契機となる教材を用意しました。(第1号) メディアの比較を題材として取り上げ、論文を執筆して議論する活動を通して、主体的に議論を形成する力を養う教材を用意しました。(第3号) エコカーの普及を題材に、資料を活用して論述する活動を通して、気候変動への対策を考える教材を用意しました。(第4号) 	<p>→356～363ページ</p> <p>→364～371ページ</p> <p>→372～377ページ</p> <p>→378～385ページ</p>

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 将来の進路の選択や、一般的な教養を高めることに資するよう、教材の中で多様なテーマを取り上げるとともに、読書案内を掲載して読書へといざなうように配慮しました。(学校教育法第51条2号)
- 社会人として必要とされる国語の能力の基礎を身につけることができるように、言語活動教材において、社会生活の中からテーマや課題を設定し、調べたことを多角的に検討して考えを深め、分かったことや考えたことを文章にまとめる学習を多く取り上げました。(学校教育法第51条3号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-186	高等学校	国語	論理国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1.編修上特に意を用いた点や特色

①目標

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成するという「目標」を踏まえ、「内容」に示された「知識及び技能」の3事項と「思考力、判断力、表現力等」の2領域の学習が効率的・有機的に行えるようにするとともに、「学びに向かう力、人間性等」を十分に養うことができるように配慮しました。

②「知識及び技能」

- ・漢字および語彙については、読解教材の脚注欄に「注意すべき語句」を示したり、「学習の手引き」の後に「漢字と語彙」の問題を掲載したりすることで、意識的・継続的に学べるようにしました。
- ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするための語句を学べるよう、コラム「思考への扉」(4か所)や、附録「評論読解へのアプローチ」を掲載しました。
- ・「論理の力」と題した教材では、情報と情報との関係や情報の整理を含め、論理に関する内容を重点的に学べるようにしました。
- ・新たな考えの構築に資する読書へのいざないとして、単元扉で掲載教材に関連する本のタイトルを示し、附録の「読書案内」でそれらの本をまとめて紹介しました。

③「思考力、判断力、表現力等」の「A 書くこと」

・資料の概要をまとめたり、意見文や短い論文を書いたりする言語活動教材を用意するとともに、読解教材との相互関連を図りました。

④「思考力、判断力、表現力等」の「B 読むこと」

- ・教材については、「3 内容の取扱い」(3)アの観点に示された事項に留意して選定しました。
- ・教材には「関連トピック」を掲げ、関連する資料や文章を探すヒントとなるキーワードを示しました。
- ・「言葉のトレーニング」と題した教材では、さまざまな種類の文章を読み、考える力を養うことができるようにしました。
- ・文章の読み比べについて取り立てて学べるよう、コラム「文章を読み比べるために」を用意するとともに、読み比べに適した複数の評論教材を掲載しました。

2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
I 部									
1 思考のはじまり	思考は風のように	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、オ	(1)ア、エ	8	1	1	2	1 学期 24
	【論理の力】質問する力	(2)ア、ウ		(1)エ、カ	172		1	1	
	ミロのヴィーナス	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、エ	14		2	2	
	【論理の力】つなげる力	(1)ウ／(2)ア		(1)ア、エ	158		1	1	
	■論理の力を鍛えよう	(2)ア		(1)エ	21		1	1	
	【論理の力】論理とは何か	(2)ア、イ、ウ		(1)ウ、エ	156				
2 新たな視点	料理は芸術といえるのか	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、ウ、カ	24		2	2	
	【論理の力】論証する力	(2)ア、ウ		(1)ウ、カ	164		1	1	
	科学的「発見」とは	(1)ア、イ、ウ		(1)イ、カ	34		2	2	
	【論理の力】要約する力	(2)ア、イ		(1)ア、エ	168		1	1	
	【言葉のトレーニング】「へびににらまれたカエル」の生き残り戦略	(1)ウ、エ／(2)ア、ウ		(1)ア、イ／(2)ア	322		1	1	
	【探究編】仮説を立てて検証する	(1)エ／(2)ア、ウ／(3)ア	(1)ア、エ、オ／(2)イ		364			10	
	■探究学習へのアプローチ	(1)ア	(1)ア		386			10	
3 人間を見つめる	分人とは何か	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、ウ、カ／(2)ウ	(1)ア、オ、キ	42	1	2	3	
	メディアの変容	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、ウ、カ／(2)ウ	(1)ア、オ、キ／(2)エ	52		3	4	
	■文章を読み比べるために	(2)ウ		(1)ウ、エ、キ／(2)エ	61	1			
4 世界と向き合う	もどかしいまを口にする	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、エ、カ	64		2	2	
	科学の営み、文学の営み	(1)ア、イ、ウ／(3)ア	(1)ア	(1)ア、オ、カ、キ	73	1	3	4	
	〔参考〕黄色の日	(1)ア		(1)ア、オ	80				
5 学問のまなざし	「リスク」と「リスク社会」	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、エ、オ	(1)ア、カ、キ／(2)イ	84	1	2	3	
	「環境」とは何か	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、カ、キ／(2)ウ	93		2	2	
	【言葉のトレーニング】長寿化・少子化と人口減少	(1)ウ、エ／(2)イ		(1)ア、イ、エ、カ、キ／(2)オ	336		2	2	
	【探究編】資料を整理し、テーマを吟味する	(2)ア、イ	(1)ア、イ、エ／(2)ア		356	8		8	
6 私たちの社会	「である」と「する」こと	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、エ	104		5	5	
	思考への扉1 実在論vs.唯名論	(1)イ		(1)カ	130				
	科学の居場所を増やすには	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、オ／(2)エ	(1)ア、エ、キ／(2)オ	118	1	4	5	
7 イメージを読む	日本人の美意識	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、オ	(1)イ、オ／(2)ウ	132	1	4	5	
	地図の想像力	(1)ア、イ、ウ		(1)イ、オ／(2)イ	146		3	3	
	■図像を読み解くために	(1)ア		(1)イ	153				

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
Ⅱ部									
1 言葉を再考する	混じり合う言葉	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、エ、オ	(1)ア、エ／(2)イ	178	1	2	3	1 学 期 24
	思考への扉2 言語的相対論	(1) イ		(1)カ	194				
	言語と記号	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、エ	186		3	3	
	【言葉のトレーニング】やさしい日本語	(1)ア、ウ／(2)イ		(1)ア、エ、オ／(2)ア	346		2	2	
2 近代という時代	環境問題と孤立した個人	(1)ア、イ、ウ	(1)カ	(1)ア、エ	196	1	3	4	
	【探究編】資料を活用して論述する	(1)エ／(2)ア・イ	(1)ア、イ、オ／(2)エ		378	8		8	
	■引用の方法	(1)ウ、エ	(1)ウ、オ		390				
	鏡の中の現代社会	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、オ	(1)ア、エ	204	1	3	4	
	思考への扉3 時代の幕開け	(1) イ		(1)カ	214				
3 メディアを問い直す	おじいさんのランプ	(1)ア、イ、ウ(3)ア	(1)ア、エ、オ	(1)ア、オ、キ／(2)エ	216	1	3	4	
	書物の近代	(1)ア、イ、ウ(3)ア		(1)ア、オ、キ／(2)エ	224		1	1	
	読み書きする身体	(1)ア、イ、ウ(3)ア		(1)ア、オ、キ／(2)エ	228		1	1	
	【言葉のトレーニング】地方都市を考える	(1)ウ、エ／(2)ア、ウ	(1)ア、イ、ウ／(2)ア		328		1	1	
	【探究編】社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く	(1)エ／(2)ア／(3)ア	(1)ア、ウ、カ／(2)ウ		372	7		7	
4 表現の効用	注意書きを読む	(1)ア、イ、ウ、エ	(1)オ	(1)ア、イ、オ、キ／(2)ア	232	1	3	4	
	損失は避けたい	(1)ア、イ、ウ	(1)オ	(1)ア、ウ、カ	242	1	2	3	
5 通念を疑う	シェアの痛みから考える	(1)ア、イ、ウ	(1)ア	(1)ア、エ、カ	254	1	3	4	
	原始社会像の真実	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、カ	264		3	3	
6 困難な時代に	社会の壊れるとき——知性的であるとはどういうことか	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、ウ、キ／(2)イ	272	1	4	5	
	思考への扉4 アボリア	(1) イ		(1)カ	296				
	虚実の間に	(1)ア、イ、ウ	(1) ア	(1)ア、オ	281	1	4	5	
	〔参考〕徒然草・虚実皮膜論	(1)ア		(1)ア、オ	293				
7 人間のありかた	ロボットは意志を持つか	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、ウ、カ／(2)ウ	298		5	5	
	抗争する人間	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、オ	(1)ア、ウ	311	1	2	3	
(Ⅰ部・Ⅱ部)合計						50	90	140	

常用漢字以外の使用漢字一覧表

(数字は初出ページを示す。)

(前見返し・口絵) ③ 洛 屏

(目次)

2 眞 尹 柴 3 爾 4 圭 也 阿 彦 辰 5 驚 之 庵

(本文)

7 伊 紗 8 譬 11 訝 17 笏 杖 19 遼 焰 抒 30 纂 39
甦 41 煽 42 乖 49 檻 50 蝕 楚 63 寅 64 暢 灌 65 坦 66
迂 67 疆 70 粟 82 蟹 淳 88 鯉 91 學 鐙 99 淘 歪 104 弘
107 謳 109 朋 庄 111 坐 臥 賤 卿 樽 112 鞞 漱 114 嗜 瞑
115 蔓 116 毫 陋 吾 奄 呻 122 淵 125 莫 132 晋 133 垢
綺 桐 壺 135 雀 136 鎧 兜 冴 137 俯 瞰 140 琳 蕉 148 饒
154 檜 156 繹 168 藪 177 嘉 179 翰 181 俎 儂 187 疇 188
緋 狸 190 楔 199 躊 躇 200 桎 梏 202 棲 204 畏 214 寵
215 禱 哉 221 董 224 帙 斂 225 龍 譚 幘 205 而 軋 轢
235 疹 嘔 237 敲 240 怜 悞 253 屑 255 踵 256 喧 嘩 258
蒙 259 歪 265 戮 266 鞞 271 毅 272 逡 273 僭 277 牽 278
頽 281 盃 賽 攤 284 絆 膏 285 檜 栗 幡 淀 288 嘘 290 汲
291 蝶 293 卜 294 髭 爺 295 祿 296 隘 297 浩 324 峙
325 膠 347 洲 356 憑 391 剽 393 沌

(附録)

398 軀 405 駁 409 諷 410 峻 綜 411 撞 413 晒 421 鍾 鷹
427 昌 428 晰

音訓一覽表

(数字は初出ページを示す。)

(目次)

2 戸谷洋志 卓行 隆義 雄大 達博 崇英 3 真男 隠岐 高階秀爾 4 河野 宗介 常寛
謙介 千尋 公彦 新納 5 清一 茂樹 仁司 貞包英之 功雄

(本文)

12 誘われる 14 巧まざる 17 掌 19 氷った焔 34 如かず 41 千枝 67 語り部 70
太田川 81 凹んだ 83 憲史 89 看取り 103 重規 104 末弘巖太郎 108 譜代 109 肝煎
111 行住坐臥 難しき 貴き 公卿 116 起つ 之 131 眼 大徳寺塔頭大仙院
保 132 山上憶良 妻子 愛し 竹取 翁 情 反さしむる 133 源氏 男皇
子 135 枕草子 清少納言 139 応挙 北斎 円山 葛飾 140 徒然草 兼好
唐絵 土佐 本阿弥光悦 俵屋宗達 尾形光琳 141 雪舟 秀吉 利休 能楽
猿楽 田楽 観阿弥 世阿弥 豊臣 安土 千 142 妃 143 近松 門左衛門
150 メディア 153 不忍池 159 お腹 164 藪 177 友紀 187 ゲーゲンシュタント 189 言霊
212 悠介 215 貴光 216 新美 225 卷子本 206 啓く 207 伝達媒体 253 章 261 仲違
い 術 266 高群逸枝 清家章 勝紀 271 卓己 美佐 274 基寛 281 博打 282 吹聴
285 石清水八幡 287 悪戯 293 戯れ 聖教 文 卒爾 触る 益 善業 自ら 修せ 縄床
禅定 事 外相 仰ぎ 尊む 弘安 延文 卜部兼好 吉田 294 穂積以貫 皮膜 合点 虚
真 紅脂 白粉 髭 正真 趣向 難波 曾根崎 国性爺 295 貞成 元禄 296 渡辺一夫 328
寛也 338 丙午 346 淡路 347 神戸 洲本 348 一成

(附録)

402 想い 随って 406 具える 象 抽く 412 正和 直樹 413 流行って 山極 雄裕

出 典 一 覧 表

申 請 図 書			出 典					備 考
ページ	名 称	種別	名 称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
①	洛中洛外図屏風（狩野永徳筆）	写真						米沢市上杉博物館
①	風俗図屏風（婦女遊楽図屏風）	写真						大和文華館
②	遠近法を用いたルネサンスの絵（「アテネの学堂」、ラファエロ筆）	写真						アフロ 4977800
2	山と青空	写真						Pixta 106353531
4	山の朝焼け	写真						Pixta 112354157
7	ソクラテス	写真						アフロ 111915232
8	思考は風のように	国語教材	『哲学のはじまり』	112	戸谷洋志	NHK出版	2024	（下記参照）
<p>原典 P 112～117 L 11を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名「おわりに」→「思考は風のように」／P 112 L 1～2 「はじめに」で、古代ギリシャの哲学者ソクラテスが登場しました。彼は哲学的な思考を、面白いもので譬えています。」→「古代ギリシャの哲学者ソクラテスは哲学的な思考を、おもしろいもので譬えています。」／P 114 L 6～9 「本書を読み直すとき…注意すればいいのでしょうか」→削除／P 114 L 11～13 「「むむむ、戸谷は…文章を追ってください。」→削除／P 115 L 7～8 「たぶん、…ないのでしょうか。」→削除／P 115 L 10～12 「先ほども述べましたが…行われるくらいです。」→削除</p>								
12	（顔）戸谷洋志	写真						戸谷洋志
14	ミロのヴィーナス	国語教材	『手の変幻』	12	清岡卓行	講談社文芸文庫	1990	（下欄参照）
<p>原典 P 12～P 16を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／タイトル「失われた両腕」→サブタイトルの「ミロのヴィーナス」に変更。／P 12 L 11 「ぼくに」→「僕には」</p>								

15	ミロのヴィーナス	写真						時事通信フォト 0005203719	
15	ミロのヴィーナス 右側	写真						サイネットフォト SPE2WAMBFD	
15	ミロのヴィーナス 後ろ	写真						ユニフォトプレス 34613397	
15	ミロのヴィーナス 左側	写真						アマナ 26004020312 (ルーブル美術館)	
19	(顔) 清岡卓行	写真						朝日新聞社 P110130001717	
21	論理の力を鍛えよう	イラスト			大塚砂織			P22・130・163・167・169・ 171・176・194・214・296 も同様。	
23	チェッカーシャドー錯視	写真						サイネットフォト	
24	料理は芸術といえるのか	国語教材	『「ふつうの暮らし」を美 学する』	153	青田麻未	光文社	2024	(下欄参照)	
	<p>原典P153L3～P161L3を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名を「料理は芸術といえるのか」とした。／小見出しは全て削除した。／P153L3「まさしく」→削除。／P153L4～L5「前節で…もう一つ、」→削除。／P153L9「観た」→「観賞した」／P155L3「(図版3-4)」→削除。／P156L4～L6「(録音や…でしょう)」→削除。／P156L7～L8「日常美学に…できませんが、」→削除。／P156L14「(図版3-5)」→削除。／P158L7「しれませんね」→「しれません」／P159L8「(一九六一年-)」→削除。／P160L1「(一九七五年-)」→削除。／P160L2「(一九六七年-)」→削除。／P160L12「なくなるものが」→「なくなるもので」</p>								
26	モナリザ_フランス ルーヴル美術館	写真						アフロ 179281306	
27	サモトラケのニケ	写真						アフロ 12691637	
31	パフォーマンスを行うリク リット・ティラワニ氏	写真						ゲッティイメージズ	
32	(顔) 青田麻未	写真						青田麻未	
34	科学的「発見」とは	国語教材	『フェミニズムと科学／技 術』	1	小川眞里子	岩波書店	2001	(下欄参照)	

	<p>原典P 1～P13L 2を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名の「序」→削除／P 1 L 1～P 2 L 3「フェミニズムと…期待したい。」→削除／P 2 L 9～11「それは本書の…準備ともなるであろう。」→削除／P 2 L 13「(次章でもう少し詳しく述べる)」→削除／P 2 L 14、P 4 L 5「図序-1」、P 4 L 10→「図 1」／P 4 L 5、P 4 L 10「図序-2」→「図-2」／P 4 L 14～15「ハンソンの本には…例なども登場する。」→削除／P 6 L 1「私たちの観察は、…」の前の1行空ける。／P 6 L 12「図序-3」→「図-3」／P 7 L 5～P10L 15「経験といっても…理解していただけるだろう。」→削除／P11「図序-5」→削除／P12L 1「、そしてそれに関連したガリレオの観測」→削除／P12L 9「高校を終えたばかりの素直な」→削除／P12L 11～L12「またガリレオはなんて偉いだろうと。」→削除／P12L 14「、decouvrir、entdeckenいずれも」→削除／P13L 2「理解し始める。」→「理解し始めるのである。」</p>							
37	図 3	写真			Gunnar Johansson			
39	(顔) 小川真里子	写真						小川真里子
41	1985年発売の携帯電話(シヨルダーホン)	写真						アフロ 37940741
41	現代のスマートフォン	写真						アフロ 115304488
42	分人とは何か	国語教材	『私とは何か』	65	平野啓一郎	講談社現代新書	2012	(下欄参照)
	<p>原典P 65 L 10～P 98L14を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名「第2章 分人とは何か」→「分人とは何か」／小見出しは全て削除した。／P 66 L 9「繰り返しになるが、」→削除／P 66 L 13「単純にうれしい」の傍点を削除／P 68 L 6「本書では、「分人」(dividual)という造語を導入した。」→「私は、「分人」(dividual)という造語を造った。」／P 70 L 14～P 86 L 7「次項からは…ケース・バイ・ケースだ。」→削除／P 88 L 14～P 98 L 7「このように、…考えごとに耽っているはずだ。」→削除／P 98 L 13「最後の変身」の主人公のように、」→削除／</p>							
50	(顔) 平野啓一郎	写真						平野啓一郎
52	メディアの変容	国語教材	『現代文化を学ぶ人のために』	98	土井隆義	世界思想社	2014	(下欄参照)
	<p>原典P98～P110を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名の節数「6」と副題「若者のケータイ・スマホ文化とキャラ的コミュニケーション」を削除。／小見出し「常時接続のためのメディア」→削除／P 98 L 4「プロフや」→削除／P 98 L 5「二四時間」→「二十四時間」／P 98 L 7～P100 L 5「これらのネット機器を介して…事実だろう。」→削除／P 100 L 10～P 100 L 15「そもそも、…製品開発の結果だった。」→削除し、前後の行をつなげる。／P 101 L 1小見出し「加速する人間関係の流動化」→削除し、一行空きに。／P 101 L 5「そして、二〇〇〇年代に入って…子どもたちが増えている。」→削除し、前後の行をつなげる。／P 102 L 2～L 6「自分が好まない…セットである。」→削除し、前後の行をつなげる。／P 102 L 7「安定性をそこに期待することも難しくなるのである。」→「安定性をそこに期待することも難しくなる。」／P 102 L 8～L12「また、かつて制度的な…大きな格差が生まれてくることにもなる。」→削除／P 102 L 18～P 103 L 2「人間関係の自由度は増したのに、…みなされがちだからである。」／P 103 L 4～L 6「たとえば、フェイスブックなどのSNSを駆使して絶えずつながりを保持</p>							

	<p>しようとしたり、ツイッターなどでフォロワーの数を過剰に気かけたりするのも、おそらくそのためだろう。」→「例えば、SNSなどで絶えずつながりを保持しようとしたり、フォロワーの数を過剰に気かけたりするのも、おそらくそのためだろう。」P103L8「(浅野 二〇一一)」→削除/P103L9小見出し「加速する価値意識の多元化」→削除し、一行空きに。/P103L10～L16「たしかに今日の日本では…困難な時代だといってもよい。」→削除/P104L4「先ほど指摘した…加速させたに過ぎない。」→削除/P104L9「標準器として利用する」→「標準とする」/P104L11～L17「だからこそ、…期待をかけられたのである。」→削除/P105L1～2「別の選択肢の可能性…絶対とは思えなくなる。」→削除/P105L4「(リースマン 一九六四)」→削除/P105L5～L9「今日では、…抱くようになっている。」→削除/P106L1小見出し「キャラというシンボル操作」→削除し、一行空きに。/P106L8～L11「リアルな日常の…悩まされているといえる。」→削除/P106L14～P107L1「二〇〇〇年を挟んで…置かれているようなものだからである。」→削除/P107L10～14「また、集団の中に…(土井 二〇〇九)。そして、」→削除し、前後の行をつなげる。/P107L14～L15「アバターと呼ばれる…そのため、」→削除/P107L17「単純化されたキャラにとって…カットが容易である。」→削除/P108L2小見出し「かけがえのなさからの疎外」→削除し、一行空きに。/P108L11～L15「したがって、…匿名的なものだともいえる。」→削除し、前後の行をつなげる。/P109L5～L6「コンビニエンスストアや…抱くのと同じことで、」→削除/P109L8～P110L2「近年、日本では、…透けて見えるようである。」→削除/P110L13～14「ネットを使いこなし、…自覚しておかなければならない。」→削除</p>							
59	(顔) 土井隆義	写真						朝日新聞社 P120722002614
63	戦前の広島市	写真						朝日新聞社 P100414068117
64	もどかしいまを口にする	国語教材	『句点。に気をつけろ』	56	尹 雄大	光文社	2024	(下欄参照)
	<p>原典P56～P63を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。その際、文章表現を例のように改めた。(例：P56L1「いろんな」→「いろいろな」/P56L6「なるんだろう。」→「なるのだろうか。」) そのほかの修正は以下のとおり。/P56L7「饒舌」→「流暢」/P57L1「できたりしたところに、アスファルトが敷かれ」→「できたりする所だったのに、アスファルトが敷かれて」/P57L5「できあがった」→「できあがったものなのだ」と/P57L9「でこぼこして」→「凸凹していて」/P57L10「どう進んでいいのか。手をつけていいのか」→「どう進めばいいのか、何から手を付ければいいのか」/P58L2「雑草とか石とかがあったら迂回したり」→「雑草や石があったら迂回」/P58L8「分かりやすさで」→「分かりやすさのことで」/P58L12「饒舌さ」→「彼らの話しぶり」/P58L13「必要はないし、」→「必要はない。」/P58L14「botみたいな話し方になっている。」→「botのような話し方をしているのだから。」/P59L4「悪いではなく」→「悪いとかではなく」/P59L6「話をされていた」→「話をする」/P59L16～P60L2→改行せずにつなげる。/P60L7「表せる」→「表すこともできる」/P60L10「戦争も途中から」→「戦時中に」/P60L12「同席した」→「インタビューに同席した」/P61L5～L6→改行せずにつなげる。/P61L11「山口さんは記憶が」→「山口さんの記憶は」/P61L13～L14→改行せずにつなげる。/P62L9「模様を話した」→「際の話をしてくれた」/P63L8「の整然とした」→「のような整然とした」/P63L8「それは物事を」→「それはその人が、物事を」/P63L9「その間に山口さんが」→「その間で」</p>							
71	(顔) 尹雄大							尹雄大
73	科学の営み、文学の営み	国語教材	アンソロジスト 2022年夏季号	46	川添 愛	田畑書店	2022	(下欄参照)

	原典P46～48下段L6を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名「科学と文学について自分なりに考えてみた」→「科学の営み、文学の営み」／P46下段L4「(ちくまプリマー新書)」→削除／P46下段L7「(P244)」→削除／P46下段L14「病院なんかで」→「病院で」							
78	(顔)川添愛	写真						川添愛
80	黄色の日	国語教材	『ビリジアン』	7	柴崎友香	河出文庫	2016	(下欄参照)
	原典P7～16を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P8L4～5「今になってみれば…かもしれない。」→削除／P8L12～P10L9「「おおー」…楽しそうに笑った。」→削除／P10L12～P11L1「黒板の右上には…学校に来ない。」→削除／P13L9～12「わたしのちょうど…音が聞こえてきた。」→削除／P14L2～P15L14「校庭の反対側…講堂へ入っていった。」→削除							
83	シアノバクテリアが堆積してできる岩石(オーストラリア)	写真						アマナ 01345000370
84	「リスク」と「リスク社会」	国語教材	學鑑 vol.115 No.2	2	神里達博	丸善出版	2018	(下欄参照)
	原典P2～P5を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P2上段L10～L11「本稿では、…紹介してみたい。」→削除／P2上段L12～L13「社会学者のベックは、一九八六年にRiskogesellschaft(=リスク社会 risk society)という書籍を出版した。」→「ドイツの社会学者のベックは、一九八六年に「リスク社会」という書籍を出版した。」／P3下段L5～L7「それらをここで…取り上げたい。」→削除／P3下段L8「その前にまず」→「ここで」／P4下段L13「(informed-consent)」→削除／P4下段L19「ルーマンは」→「ドイツの社会学者ルーマンは」／P4下段L21～22「(Risiko:risk)」→削除／P4下段L23「(Gefahren:danger)」→削除／P5上段L8「(Risiko:risk)」→削除／P5L9「(Sicherheit:safety)」→削除／P5上段L10「(Gefahren:danger)」→削除／P5下段L18「紙面が尽きてしまったので」→削除							
91	(顔)神里達博	写真						朝日新聞社 P140225000200
93	「環境」とは何か	国語教材	『「環境を守る」とはどういうことか』	7	上柿崇英	岩波ブックレット	2016	(下欄参照)
	原典P7～P13L16を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名の章数「第一章」と副題「「自然環境」「社会環境」「人間」の関係性」を削除／P7L2「読者は」→削除／P8L5～6「(川上紳一『生命と地球の共進化』NHKブックス、二〇〇〇年)」→削除／P8L8「本章で考えてみたいのは」→「ここで考えてみたいのは」／P13L1「本章では繰り返し、」→削除／P13L2「本章をふまえて読者に考えてほしいのは、」→「ここで考えてほしいのは、」／P13L8「(第三章では「自然中心主義」と表記)」→削除／P13L11「本章で見てきたように、」→削除							
96	ムササビ	写真						アマナ 32174000006
101	(顔)上柿崇英	写真						上柿崇英

103	LHC（大型ハドロン衝突型加速器）	写真						アフロ 10568800
103	LHC（大型ハドロン衝突型加速器）	写真						アフロ 24788476
104	「である」ことと「すること」	国語教材	『日本の思想』	154	丸山真男	岩波新書	1961	（下欄参照）
<p>原典P154L4～P180L2を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P155L9「威嚇でもなければ教科書ふうの空疎な説教」→「威嚇でもなければ、空疎な説教」／P156L12「相対的に」→「相対的に」（以下、原文の傍点は、「である（であり）」「すること」以外はすべて削除）／P156L12「恵まれてる」→「恵まれている」／P157L11「概念実在論」→「実在論」／P158L14「モラルも」→「モラルにも」／P159L7「（イエーリング）」→削除／P160L14小見出し「『すること』組織の社会的擡頭」→「『すること』社会と『すること』論理への移行」／P161L2「何々部という」→「何々部とかいう」／P161L7～P163L3「何年前でしたか…申上げたわけです。」→削除／P163L4小見出し「業績本位という意味」→削除／P164L11「モラルの」→「モラルとの」／P164L13～P174L3「経済の世界では…避けられないのです。」→削除／P174L6「むつかしき事なり」→「難しき……ことなり」／P174L6「賤しきの区別」→「賤しきとの区別」／P174L7「やすきによる」→「やすきとによる」／P174L9「身分の重き人だの」→「身分重き人だのと」／P174L10「人たちは」→「人たちには」／P174L10「伝へたお金」→「伝へのお金」／P174L11「正味はいやしき人」→「正味は、……賤しき人」／P174L12「（原文のカナ…傍点丸山）」→削除〔『日々のをしへ』の引用は、『福沢諭吉全集』（第20巻 岩波書店）による。〕／P175L7「部落」→「社会」／P176L1～6「この矛盾は…ありません。」→削除／P176L7「むしろより」→削除／P176L7「これまで挙げた政治の例が示しているように」→削除／P177L6「きている。」→「きています。」／P177L9～12「日本の大学…いわねばなりません。」→削除／P177L13「（邦訳・原題名は『二十世紀の諸相』）」→削除／P179L7「前にのべたような、文化の（文化人ではない！）立場」→「文化の立場」／P179L15～P180L1「トーマス・マンが…意味になります。」→削除</p>								
105	ナポレオン三世のクーデター	写真						サイネットフォト AKG_16049
107	映画「ハムレット」の一場面	写真						サイネットフォト ALB245262
116	（顔）丸山真男	写真						朝日新聞社 P100414064894
118	科学の居場所を増やすには	国語教材	『「役に立たない」研究の未来』	72	隠岐さや香	柏書房	2021	（下欄参照）
<p>原典P72L7～P92L9を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。その際、文章表現を例のように改めた。（例：P77L4「話したわけです」→「話したのです」／P78L2「訴え方ですね。」→「訴え方です。」）そのほかの修正は以下のとおり。／題名「科学はいつから「役に立つ／役に立たない」を語り出したのか」→「科学の居場所を増やすには」／P72L7～9「私は科学史の専門家として…お話ししたいと考えています。」→「科学が「役に立つ」「役に立たない」という話を、人々はこれまで、どのようにして話してきたのでしょうか。」／P72L10～P74L13「というのも、…言えるのかもしれませんが。」→削除／小見出し「王や貴族を「説得」するための言葉」→削除／P75L2「時代を少しくだつて、」→「まず、」／P75L4「についても」→「を」／P75L5「一七世紀というのは、」→「十七世紀は、」／P76L1～L3「フランスの…」</p>								

	<p>いる場所でした。」→削除/P76L6「自然科学や数学といったもの」→「自然科学や数学」/P76L10~11「そこで研究者たちは、先ほども出てきた「有用性」という…語りかけたわけです。」→「そこで研究者たちは、「有用性」という…語りかけたのです。」/P76L12「すべての論点は紹介できませんが、」→削除/P77L1「(パリ王立科学…一六九九年号)」→削除/P77L4~5「それがいちばんわかりやすいですからね。」→削除/P78L3~L7「この場合に…わけですから。」→削除/小見出し「「無限の効用」？」→削除/P79L2~3「さらに俯瞰するようなポジションから、」→削除/P79L5「そのメッセージとはなんだったかということ、」→「その意義とは、」/P79L8~P80L1「これは初田さんから…持ち出しています。」→削除/小見出し「芸術における無用の美」→削除/P80L6~P81L6「参考までに、…始まりでもありました。」→削除/小見出し「「役に立つ」は、きわめて政治的な言葉である」→削除し、一行空きに。/P83L11「これに関しては…一つあげると、」→削除/P84L1「おもしろいです。」→「興味深いものがあります。」/P84L2「(『アメリカのデモクラシー』…〈上〉)」→削除/P84L3・6・8・12の一行空きを削除/P84L13「なんだか身につまされる話ですね。」→削除/小見出し「トクヴィルの問題提起」→削除し、一行空きに/P86L7~8「理論科学のようなものは危機に至りやすいんだ、と主張したわけです。」→「理論科学のようなものは危機に陥りやすいのだ、と主張しました。」/P87L10「つまるところ、」→削除/小見出し「「エスタブリッシュメントへの憎悪と「未知」への恐怖」→削除し、一行空きに。/P88L11「(既存体制)」→削除/P89L4「ちょっと」→「少し」/P89L8~9「時間がないので…とにかく、」→削除/小見出し「「役に立たない」科学の居場所を増やすには」→削除し、一行空きに/P90L2「そろそろまとめに入ります。」→「それでは、」/P90L4「今日も」→「今後も」/P90L6「とりあえず、」→削除/P92L9「学問のやり方」→「学問の在り方」</p>							
128	(顔) 隠岐さや香	写真						朝日新聞社 P241112000294
131	大徳寺大仙院(京都府)	写真						アート・エフ 00018524
131	オルガンの噴水(イタリア)	写真						アマナ 25410013666
132	日本人の美意識	国語教材	『日本近代の美意識 新訂増補版』	203	高階秀爾	青土社	1986	(下欄参照)
	<p>原典P203~P213を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。/題名「美術にみる日本人の美意識」→「日本人の美意識」/P204L12「三寸ばかりなる人うつくしうて」→「三寸ばかりなる人、いとうつくしうて」/P205L1~2「このうち…それに対し、」→削除/P205L6~11「金田一春彦氏も…おられる。」→削除/P205L12「玉の皇子」→「玉の男皇子」/P205L15「このようなこと」→「このこと」/P205L15「おそらく…であろうが、」→削除/P211L4~6「細部への…よいであろう。」→削除/P213L15「(一九六八)」→削除</p>							
135	ギリシャの彫像(円盤投げ)	写真						サイネットフォト
141	秋冬山水図・冬景(雪舟筆の水墨画)	写真						東京国立博物館 C0020315
142	パリスの審判(ルーベンス筆)	写真						サイネットフォト
144	(顔) 高階秀爾	写真						時事通信フォト 0001035240

146	地図の想像力	国語教材	『増補 地図の想像力』	58	若林幹夫	河出文庫		(下欄参照)
<p>原典P58L14～P64L2を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P58L17「図2の古代バビロニアの世界図や、」→削除。／P58L18「(図5)」→削除。／P60L4「いまだ」→削除。／P61L3小見出し「意味としての世界」→削除。／P61L8「ふたたび」→削除。／P62L16小見出し「テキスト=世界像生産の場」→削除。</p>								
147	T-O図	写真						サイネットフォト
151	(顔) 若林幹夫	写真						若林幹夫
153	上野公園	写真						アマナ 27256000184
153	鷺	写真						グッティイメーجز
177	ハイチ語などの多言語辞書	写真						サイネットフォト
178	混じり合う言葉	国語教材	『未来をつくる言葉』	25	ドミニク・チェン	新潮社	2020	(下欄参照)
<p>原典P25L4～P31を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名の章数「第一章」を削除／P28L7小見出し「言語の意識と無意識の言語」を削除し、一行空きに。／P28L10～P29L1「精神分析家の…できるだろう。そして、」を削除し、改行した。／P28L2～L3の行をつなげる。／P3L5「俎上にあげられる」→「俎上に載せられる」／P30L1小見出し「自然言語のハイブリッド」を削除し、一行空きに。</p>								
182	線香花火	写真						アフロ 29142840
184	(顔) ドミニク・チェン	写真						ドミニク・チェン
186	言語と記号	国語教材	『書齋の窓』1985年4月	16	丸山圭三郎	有斐閣	1985	(下欄参照)
<p>原典P16下L7「私たちの…」～P20上L10「…本性をかくしている。」を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名「文化という記号」→「言語と記号」／各章を表す「一、二、三」を削除し、行を詰めた。／P17上L5「『広辞苑』」→「辞典」／P18下L8～9「熊のことを『蜂蜜』（スラヴ語）とか、『褐色のもの』（古代高地ドイツ語）という仮の名で」→「熊のことを、スラブ語では『蜂蜜』と言ったり、古代高地ドイツ語では『褐色のもの』と言ったりして、仮の名で」／P20上L10「…本性をかくしている。」→「…本性を隠している不可思議な記号である。」</p>								
186	民族衣装	写真						時事通信フォト 0051158927

192	(顔) 丸山圭三郎	写真						朝日新聞社 P111101003974
195	「死者の日」 (メキシコ) 墓場での会食	写真						サイネットフォト AD5E25
195	砂糖菓子	写真						サイネットフォト E03-400521
196	環境問題と孤立した個人	国語教材	『意識は実在しない 心・自由・知覚』	8	河野哲也	講談社	2011	(下欄参照)
<p>原典P 8～P 13を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P 8 L 4～L 8 「二〇一一年三月に起きた…刻むであろう。」→削除。 ／P 12 L 13 「同性愛者」→「性的少数者」</p>								
202	河野哲也	写真						河野哲也
204	鏡の中の現代社会	国語教材	『社会学入門』	25	見田宗介	岩波新書	2006	(下欄参照)
<p>原典P25L9～P40L9を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／小見出し及び「*」印はすべて削除した。／P25L12～P26L3 「社会学、…ということです。」→削除／P26L9～11 「商社マン…たくさんいます。」→削除／P26L11 「大好きになった少数派」→「大好きになったほう」／P26L15～P27L11 「ひとつだけ…いなくなっている。」→削除／P27L11 「この」→削除／P27L12～14 「そのときの…なったのですが、」→削除／P28L4～5 「『3 K』という…ばかりです。」→削除／P28L7 「ふしぎその一、とっていい。」→削除／P28L8～P31L6 「矛盾といえば、…人たちがいる。」→削除／P31L12～13 「具体的な… (…など)、」→削除／P32L5～6 「ペルーで…とかいう話題で」→「他愛のない話題で」／P32L14～P33L3 「インドや…いるように思います。」→削除／P33L10 「アゲオという埼玉県で」→「東京近郊の駅で」／P33L10 「暴動」→「騒ぎ」／P33L11 「気狂いじみた」→「異常な」／P34L14 「ぼくたちは」→「ぼくたちには」／P35L2～8 「社会学の…細かくなっています。」→削除／P37L3～5 「マックス・ウェーバーの…という論文は、…この論文で」→「マックス・ウェーバーは…という論文で」／P38L5～7 「ちなみに…書いています。」→削除／P39L6 「今日の…初めに、」→削除／P39L7 「話になりやすい…事実ばかりで」→削除／P39L8～9 「矛盾を、『ふしぎその一』として提示しました。ぼくたちはいまその理由を言うこと」→「矛盾の理由を、ぼくたちは今、言うこと」／P39L14 「この後… (…)、」→削除</p>								
206	バザール (アラブ首長国連邦)	写真						サイネットフォト 3537000163000
208	大時計 (イタリア)	写真						サイネットフォト 442-9886
208	一本針の時計 (イタリア)	写真						サイネットフォト 998600000000
210	100ドル紙幣	写真						サイネットフォト 641800008950-Q001-005-

210	ーグロート銀貨	写真						サイネットフォト 2720
212	(顔) 見田宗介	写真						朝日新聞社 P111119000866
215	ベリー公のいとも豪華なる 時禱書(5月)	写真						サイネットフォト 10030624
215	ベリー公のいとも豪華なる 時禱書(洗札)	写真						サイネットフォト CND898629
216	おじいさんのランプ	国語教材	『日本文化の論点』	74	宇野常寛	ちくま新書	2012	(下欄参照)
<p>原典P74～P90を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名「おぢいさんのランプ」→「おじいさんのランプ」／P74L6「旧マスコミ業界人が大好きな」→削除。／P74L8「彼らの」→「こういった」／P74L10「よく」→削除。／P75L14「俺たち」→削除。／P76L9小見出し「日本語が亡びるとき?」→削除し、本文を一行あきに。／P76L10「よく」→削除。／P77L1「一八八ミリサイズ」→「一八八ミリメートルサイズ」／P77L13「ツイッター」→「短文投稿のSNS」／P78L12「メールやライン(LINE)」→「メールなど」／P78L12「ツイッターやフェイスブック」→「SNSなど」／P80L11「なります。」→「なるのです。」／P80L12～P90L4「ゲーミフィケーション化する社会…展開していくつもりです。」→削除。／P90L8「アマゾン」→「ネット書店」</p>								
222	(顔) 宇野常寛	写真						宇野常寛
224	書物の近代	国語教材	『書物の近代』	7	紅野謙介	ちくま学芸文庫	1999	(下欄参照)
<p>原典P7～P10L16、P308～P312を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名「書物のなかの小説」「文庫本のためのあとがき」→「書物の近代」／P7L10「岩波書店の児童向けの本が多くそうであったように、」→削除。／P8L4「なかに」→「なかには」／P8L7「開いてみせた」→「開いてみた」／P8L14～P9L4「考えてみれば…しかし、」→削除し、本文を一行あきに。／P10L5「コンパクトディスクやレーザーディスク」→「光ディスク」／P308L1～2「この本を書いたから…形容したくなるほどのものだった。」→削除。／P308L2「なかでも」→「ところで現在は、」／P308L3「とげた。」→「遂げている。」／P308L4～L5「本書の最初の原稿は、…替わった。」→「私も」／P308L7「原稿を書いている。」→「原稿を書いたりしている。」／P308L7「デジタル化については変わりはないが、」→削除。／P308L7「原稿をフロッピーで渡すよりも」→「その原稿も記録メディアで渡すのではなく」／P308L8「多くなった」→「多い」／P308L9「七年間のあいだに、」→削除。／p309L6～P311「たとえば、…開いたようにも思う。」→削除。／P312L1「このふたつの話は…話からだけ見ても、」→削除。／P312L2「紙に書かれた物がいいか、」の前に「例えば、」を挿入。／P312L6「一部の国家が…同時に」→削除。</p>								
228	読み書きする身体	国語教材	『新編 第三の眼』	11	港 千尋	せりか書房	2009	(下欄参照)
<p>原典P11L9～P15L8を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名「知識の扉 学ぶことの身体性」→「読み書きする身体」／P11L11「CD-ROM」→「光ディスク」／P12L5小見出し「知識は蜜の味がする」→削除し、前後のあきをつめる。／P13L15「インクとペン」→「ペンとインク」／P14L6「合衆国」→「アメリカ合衆国」／P15小見出し「無限の本」→削除し、一行あきに。</p>								

231	値引きシールの貼られた商品	写真						アフロ 250321440
232	注意書きを読む	国語教材	『文章は「形」から読む』	125	阿部公彦	集英社新書	2024	(下欄参照)
<p>原典P125L7～P134L2を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P125L9～L10「「実用的な文章」という…しかし、」→削除／P125L10～L11「このような文書でも…その形の特徴を列挙すると」→「このような文書の特徴を列挙すると」／P127L7「いそうに響きます。」→「いそうに感じられます。」／P127L10「この書類」→「この文書」／小見出し「文章の点と線」→削除／P130L9「次の第六章でも説明するように、」→削除／小見出し「機械の仮面をかぶる文章」→削除／P132L5「会議や飲み会」→「会議」／P132L7「飲み会に参加して…同じで、」→削除</p>								
233	新型コロナワクチンに関する説明書	国語教材						厚生労働省
240	(顔) 阿部公彦	写真						朝日新聞社 P170613001810
242	損失は避けたい	国語教材	『あなたを変える行動経済学』	54	大竹文雄	東京書籍	2022	(下欄参照)
<p>原典P54～P65を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／小見出し「どちらを選びますか?」「安全策をとるか、ギャンブルをするか?」「「損失回避」とは?」「参照点にしがみついて非合理的な意志決定をする」「利得よりも損失を1・5～2・5倍大きく感じる」を削除／P55L9～L11「余談ですが、…カットされてしまいました。」→削除／P58L9～P59L2「つまり、…まったく異なってくるのです。」→削除し、一行空きに／P61L11～L12「また、〈質問2〉と…にもかかわらず、どうして〈質問3〉で安全策をとる人が多数派になるのでしょうか。それは、」→「〈質問2〉と…にもかかわらず、〈質問3〉で安全策をとる人が多数派になるのは、」／P61L14「さて、」→削除／P62L6「強く意識させる表現になり、損失局面では」→「強く意識させる表現になります。そのため、損失局面では」</p>								
250	図4 八王子市大腸がん検診受診勧奨はがき	写真						株式会社キャンサーズ キャン／八王子市
251	(顔) 大竹文雄	写真						大竹文雄
253	モアイ像(チリ)	写真						アフロ 23292118
254	シェアの痛みから考える	国語教材	ちゃぶ台9	170	藤原辰史	ミシマ社	2022	(下欄参照)
<p>原典P170～P177を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P172L8～L9「同じ洗面所を使ったりすることで風邪の感染のリスクも生じる。」→「同じ洗面所を使うことで風邪に感染したりするリスクも生じる。」／P172L18「(岩波新書、二〇一〇年)」→削除／P176L6～L7「少し話が逸れるが、前号の『ちゃぶ台8』で私は、世の…到来していない、と書いた。」→「少し話が逸れるが、私は、世の…到来していない、と考える。」／P176L8「ならない、と主張した。」→「ならない。」</p>								

262	(顔) 藤原辰史	写真						朝日新聞社 P220222000922
264	原始社会像の真実	国語教材	『世界思想』2011年春	38	新納 泉	世界思想社	2011	(下欄参照)
原典P38下段L 4～P41上段L 21を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P 38下段L 4「いくつか例をあげてみよう。」→削除／P 39下段L 22「(『古墳時代の埋葬原理と親族構造』) →削除／P 40上段L 8「『銃・病原菌・鉄』で…受賞した」→削除／P 40下段L 6「六六%」→「約七割」／P 40L 10「原始社会のロマンと真実」→削除								
269	(顔) 新納 泉	写真						新納泉
271	五・一五事件を報じる新聞	写真						朝日新聞社 P130905002445
271	襲撃後の首相官邸前の混乱	写真						朝日新聞社 P150319001263
272	社会の壊れるとき—知性的であるとはどういうことか	国語教材	『日本の反知性主義』	285	鷲田清一	晶文社	2015	(下欄参照)
原典P 285L 4～P 292L 9を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P 285L 4「昭和7年」→「昭和7年(一九三二)」を挿入。／P 286L 3「これまでとおなじくここでもしようとしているように、」→削除。／P 286L 7「もたれつき、」→「もたれかかり、」／P 286L 11「狙撃者」→「襲撃者」／P 286L 13「一方的に否認されたのでした。」の後を一行あけた。／P 286L 17「意味あるもの、significantなもの」→「意味ある(significant)もの」／P 287L 6「(1848年)」→削除。／P 287L 8引用の前の1行あきを削除して詰めた。／P 287L 12「『文化の定義のための覚書』」、「深瀬基寛訳、中央公論新社、246頁」→削除。／P 287L 12引用の後の1行あきを削除して詰めた。／P 288L 5「成形」→「形成」／P 288L 15「ですが、」→「しかしそれは、」／P 289L 3～L 5「《近代性》を…思います。」→削除。／P 289L 6「『支配的な思想とは、…』の前を1行あけた。／P 290L 2「(傍点は引用者)」→削除。／P 290L 3引用の前の1行あきを削除して詰めた。／P 290L 8「290頁」→「傍点は引用者。」／P 290L 9引用の後の1行あきを削除して詰めた。／P 291L 5「以上の議論は…」の前を1行あけた。／P 291L 6～L 16「権力といえば、…映っているのでしょうか。」→削除。／P 292L 1小見出し「『知性的』ということの意味」→削除。／P 292L 2「圧制」→「野蛮」								
279	(顔) 鷲田清一	写真						鷲田清一
281	虚実の間に	国語教材	『世界』2月号	103	円城塔	岩波書店	2020	(下欄参照)
原典P103～P108を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P 105下段L 10～12の引用前後の1行あきを削除して詰めた。／P 105L 13「文章を手軽に作成することができる」→「文章を作成することができる」／P 105L 15「(講談社文庫)」→削除／P 105L 18～P 106L 1の引用前後の1行あきを削除して詰めた。								

283	かまど	写真						アマナ26121015146
283	七輪	写真						アマナ10149002323
291	(顔) 円城塔	写真						朝日新聞社 P151124000721
293	徒然草	国語教材	『新訂 徒然草』		兼好法師	岩波書店	1985	(下欄参照)
原典P270～P271を採録した。								
294	虚実皮膜論	国語教材	日本古典文学大系50 『近松浄瑠璃集 下』		穂積以貫	岩波書店	1959	(下欄参照)
指導上の配慮により、以下の修正を行った。／原典P358L9～P359L16を採録し、「虚実皮膜論」と表題を付した。／発話部分(P358L10「今時の…取らず。」・P358L13「この論…おほし。」)はカギ括弧「」で括った。／P358L13「近松答云…」で改行した。／P359L1「生(はへ)」→「生え」／P359L3「是に付て…それ故に」を省略した。／P359L13「晝そらごとゝて…」で改行した。								
297	電王戦対局	写真						朝日新聞社 P170401000175
298	ロボットは意志を持つか	国語教材	書き下ろし		野矢茂樹		2020	
309	(顔) 野矢茂樹							野矢茂樹
311	抗争する人間	国語教材	『抗争する人間』	16	今村仁司	講談社選書メチエ	2005	(下欄参照)
原典P16～P22L15を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名「3 他者に承認を要求すること」→「抗争する人間」／P16L6～7「前に言及した…考えてみたい。」→削除／P18L7～16「ひとつの比較を…欲望の現れである。」→削除／P19L10「(『パンセ』)」→削除／P20L12「4 暴力を生み出す精神と倫理」→削除								
319	(顔) 今村仁司	写真						読売新聞社
322	「へびににらまれたカエル」の生き残り戦略	国語教材	書き下ろし		西海望		2020	
323	図1	図						西海望(一部、加工)

325	図 2	図						西海望（一部、加工）
326	図 3	図						西海望（一部、加工）
326	表 2	図						西海望（一部、加工）
328	地方都市を考える	国語教材	『地方都市を考える』	88	貞包英之	花伝社	2015	（下欄参照）
<p>原典P88L9～P95L10を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名を「3 移動の鄭止、犯罪の軌跡」→「地方都市を考える」／P88L10「中央公論新社、二〇一四年」→削除／P88L10「図13」→「図1」／P90L2「図14」→「図2」／P90L6「図15」→「図3」／P90L13「図16」→「図4」／P93L9「図17」→「図5」</p>								
336	長寿化・少子化と人口減少	国語教材	『東大が作った高齢社会の教科書』をもとに書き下ろし			東京大学出版会	2017	
337	図 1 日本人の平均寿命の推移と将来推計	国語教材	令和6年版高齢社会白書					厚生労働省 ※1947年のデータを増補
339	図 2 日本人の出生数と合計特殊出生率	国語教材	令和5年人口動態統計					厚生労働省
339	図 3 日本の年齢階層別人口の推移と推計	国語教材	東大が作った高齢社会の教科書					書き下ろし原典の書籍に掲載されているグラフをもとに、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（令和5年推計）の出生中位・死亡中位推計値を踏まえ変更。
340	図 4 日本の将来の人口構成（年齢別）の推計	国語教材	東大が作った高齢社会の教科書					書き下ろし原典の書籍に掲載されているグラフをもとに、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（令和5年推計）の出生中位・死亡中位推計値を踏まえ変更。

342	図 5 高齢者の割合の推移 (日本と欧米・65歳以上)	国語教材	令和6年版高齢社会白書					厚生労働省
343	図 6 高齢者の割合の推移 (アジア・65歳以上)	国語教材	令和6年版高齢社会白書					厚生労働省
343	図 7 高齢化率が7%から 14%へ達するまでの所要年 数の国際比較	国語教材	令和6年版高齢社会白書					厚生労働省
344	図 8 夫婦の平均理想子供 数と平均予定子供数	国語教材	第16回出生動向基本調査 (2021年)					国立社会保障・人口問 題研究所
345	図 9 子育てをして負担に 思うこと	国語教材	令和2年度少子化社会に関 する国際意識調査					内閣府
345	図 10 子供の数と一人当 たりの家計における年間教 育費	国語教材	参議院 調査室作成資料 「子どもの減少と相反する 一人あたり教育費 の増加」(平成30年7月)					参議院
346	やさしい日本語	国語教材	『やさしい日本語』	36	庵功雄	岩波新書	2016	(下欄参照)
	<p>原典P36～P51L10を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名を「第二章 〈やさしい日本語〉の誕生」→「やさしい日本語」／P36L1小見出し「阪神・淡路大震災の教訓―災害時の情報提供」→削除／P36L4～L5「(地域の特徴から中国語と韓国語・朝鮮語ではある程度の情報が提供されたものと思われます)」→削除／P36L11「次に挙げる松田ほか(2000)です。」→「次に挙げる松田陽子らの研究です。」／P38L10～P45L13「こうした観点からの…理念について見てきました。ここでは、」→削除／P45L13～P46L1「この理念が実際に活用されている例として、NHKのNews Web Easy(通称「やさしい日本語ニュース」と、公的文書の書き換え作業およびその発展形式である横浜市との協働事業について紹介します。→「こうした「やさしい日本語」が実際に活用されている一例として、公的文書の書き換え作業について紹介します。」／P46L2～P48L3「NHKのNews Web Easy…横浜市との協働事業です。」→削除／P49L6「岩田(2014)で取り上げられている例」→「岩田一成の研究で取り上げられている例」／P46L12「(岩田2014より)」→削除／P50L2～L5「(ちなみに、筆者たちが…反映しています)」→削除／P51L4「(岩田2014より)」→削除／P51L10「(より詳しいことは、岩田(2014)を参照してください)」→削除</p>							
350	やさしい日本語ガイドライ ン	国語教材	「在留支援のためのやさし い日本語ガイドライン」		出入国在留管理 庁・文化庁		2020	(下欄参照)
	<p>原典P7～P10を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P7「ステップ1」→削除／P8「『「外来語」言い換え提案』の活用」の項目を削除／P8「13～14ページに変換例を記載」→削除／P9「ステップ2」→削除／P9「13～14ページに変換例を記載」→削除／P10「ふりがなの大きさ、漢字とふりがな、行と行の間を空けるなどして、見やすくします。」→「ふりがなの大きさ、行と行の間隔などに気をつけて、見やすくします。」／P10「ステップ3 わかりやすさの確認」の項目を削除</p>							
358	新聞記事	国語教材						朝日新聞社／平良木登 規男

359	裁判員制度に関する世論調査（平成21年6月調査）	国語教材						内閣府 https://survey.gov-online.go.jp/h21/h21-saiban/2-4.html
360	裁判員制度に関する世論調査（2019年4月）	国語教材						NHK放送文化研究所 https://www.nhk.or.jp/bunken/research/yoron/pdf/20190521_1.pdf
363	話し合い	イラスト			AOI			P.366・367・371・377・379・381・382も同様
366	「学校読書調査」の結果	国語教材	全国学校図書館協議会「第65回学校読書調査」				2019	全国学校図書館協議会 https://www.j-sla.or.jp/material/research/dokusyotyousa.html
368	青少年のインターネット利用状況	国語教材	内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）」				2020	内閣府 https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf
369	インターネット利用率	国語教材	内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）」				2020	内閣府 https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf
369	青少年のスマートフォンの所有・利用状況	国語教材	内閣府「平成29年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）」				2018	内閣府 https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/h29/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf

375	出版物の推定販売金額	図	『出版指標年報 2020年版』年版	3		公益社団法人 全国出版協会 出版科学研究所	2020	出典の数値データをもとにグラフを作成。
380	持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細	国語教材	外務省「持続可能な開発目標 (SDGs) と日本の取組」					外務省 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf
381	運輸部門における二酸化炭素排出量	国語教材	国土交通省「運輸部門における二酸化炭素排出量」				2020	国土交通省 https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html
382	日本の次世代自動車の普及目標と現状	国語教材	国土交通省・経済産業省「EV/PHV普及の現状について」				2018	経済産業省 https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene_shinene/sho_energy/jidosha_handan/pdf/2018_007_01_00.pdf
398	『哲学の現在』	国語教材	『哲学の現在』	96	中村雄二郎	岩波新書	1977	(下欄参照)
	原典P96L2～P97L7を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P96L3「このような」→削除。／P97L7「この点についてもう少し考えてみよう。」→削除。							
424	『生きることは頼ること』	写真						講談社
424	『言葉の風景、哲学のレンズ』	写真						講談社
424	『目の見えない人は世界をどう見ているのか』	写真						光文社
424	『「ふつうの暮らし」を美学する』	写真						光文社
424	『近代美学入門』	写真						筑摩書房
424	『銀河の片隅で科学夜話』	写真						朝日出版社
424	『「カッコいい」とは何か』	写真						講談社

424	『つながりを煽られる子どもたち』	写真						岩波書店
424	『タテ社会の人間関係』	写真						講談社
424	『世にもあいまいなことばの秘密』	写真						筑摩書房
424	『聞くこと、話すこと。』	写真						大和書房
424	『言語の本質』	写真						中央公論新社
425	『ビリジアン』							河出書房新社
425	『寺田寅彦随筆集』							岩波書店
425	『やし酒飲み』	写真						岩波書店
425	『リスクの正体』	写真						岩波書店
425	『SDGs（持続可能な開発目標）』	写真						中央公論社
425	『社会を知るためには』	写真						筑摩書房
425	『日本の思想』	写真						岩波書店
425	『文系と理系はなぜ分かれたのか』	写真						星海社
425	『民主主義とは何か』	写真						講談社
425	『名画を見る目』	写真						岩波書店
425	『社会学入門一步前』	写真						河出書房新社
425	『異文化理解』	写真						岩波書店
426	『言葉と無意識』	写真						講談社
426	『ちいさい言語学者の冒険』	写真						岩波書店
426	『記号論への招待』	写真						岩波書店
426	『道徳を問いなおす』	写真						筑摩書房
426	『社会学入門』	写真						岩波書店
426	『自然保護を問いなおす』	写真						筑摩書房
426	『ゼロ年代の想像力』	写真						早川書房
426	『知的創造の条件』	写真						筑摩書房
426	『記憶のデザイン』	写真						筑摩書房
426	『文章は「形」から読む』	写真						集英社
426	『いますぐできる実践行動経済学』	写真						東京書籍
426	『予想どおりに不合理』	写真						早川書房
427	『歴史の屑拾い』	写真						講談社

427	『環境考古学への招待』	写真						岩波書店
427	『「分かち合い」の経済学』	写真						岩波書店
427	『哲学の使い方』	写真						岩波書店
427	『流言のメディア史』	写真						岩波書店
427	『うわさとは何か』	写真						中央公論社
427	『哲学の謎』	写真						講談社
427	『貨幣とは何だろうか』	写真						筑摩書房
427	『ロボットと人間』	写真						岩波書店
427	『消費社会を問いなおす』	写真						筑摩書房
427	『日本の少子化対策はなぜ失敗したのか?』	写真						光文社
427	『やさしい日本語ってなんだろう』	写真						筑摩書房
⑤	プトレマイオスの天球図	写真						サイネットフォト

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や所有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

- (2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	前見返し ③	URL	自社	自社ページURL	コンテンツ一覧	別紙1添付
		二次元コード	自社	同上	同上	
2	8	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙2添付
3	14	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙3添付
4	24	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙4添付
5	34	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙5添付
6	42	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙6添付
7	52	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙7添付
8	64	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙8添付
9	73	二次元コード	自社	自社ページURL	黄色の日(補足資料) 漢字と語彙(クイズ)	別紙9添付
10	84	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙10添付
11	93	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙11添付

12	104	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙12添付
13	118	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙13添付
14	132	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙14添付
15	146	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙15添付
16	158	二次元 コード	自社	自社ページURL	演習問題(クイズ)	別紙16添付
17	164	二次元 コード	自社	自社ページURL	演習問題(クイズ)	別紙17添付
18	168	二次元 コード	自社	自社ページURL	演習問題(ワークシート)	別紙18添付
19	172	二次元 コード	自社	自社ページURL	演習問題(ワークシート)	別紙19添付
20	178	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙20添付
21	186	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙21添付
22	196	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙22添付
23	204	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙23添付
24	216	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙24添付
25	232	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙25添付
26	242	二次元 コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙26添付

27	254	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙27添付
28	264	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙28添付
29	272	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙29添付
30	281	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙30添付
31	298	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙31添付
32	311	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙32添付
33	322	二次元コード	自社	自社ページURL	先手が不利になってしまう様子(動画) 近距離での逃避行動によってシマヘビが驚く様子(動画)	別紙33添付
34	356	二次元コード	自社	自社ページURL	活動のポイント(動画)	別紙34添付
35	364	二次元コード	自社	自社ページURL	活動のポイント(動画)	別紙35添付
36	372	二次元コード	自社	自社ページURL	活動のポイント(動画)	別紙36添付
37	378	二次元コード	自社	自社ページURL	活動のポイント(動画)	別紙37添付
38	418	二次元コード	自社	自社ページURL	マッピング(シミュレーション) 九ますブロック(シミュレーション) 九ますブロック(ワークシート) ベン図2(ワークシート) ベン図3(ワークシート) 座標軸(ワークシート) フィッシュボーン図(ワークシート) ピラミッドチャート(ワークシート)	別紙38-1、38-2、38-3添付

番号 1

書名入る

コンテンツ一覧 (PDF)

I 部 >

論理の力 >

II 部 >

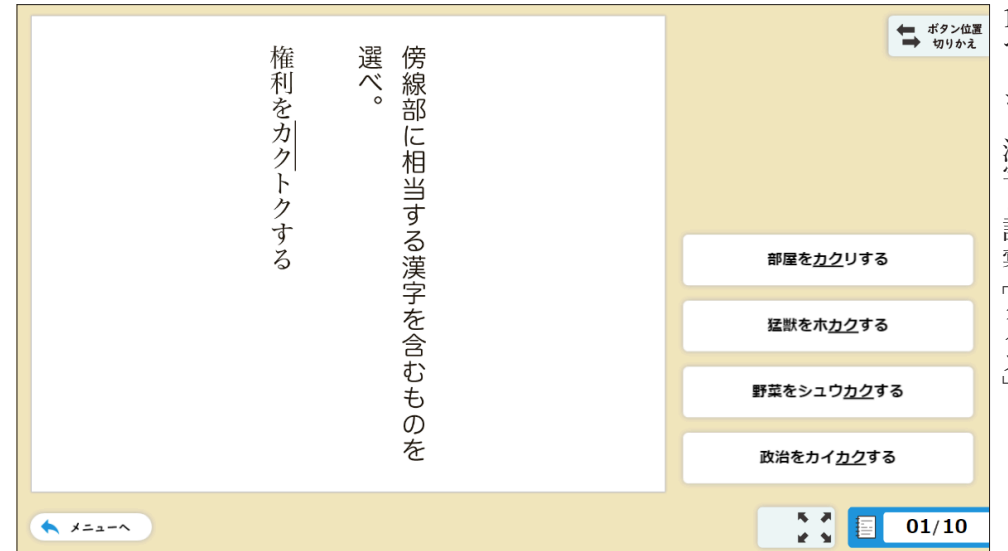
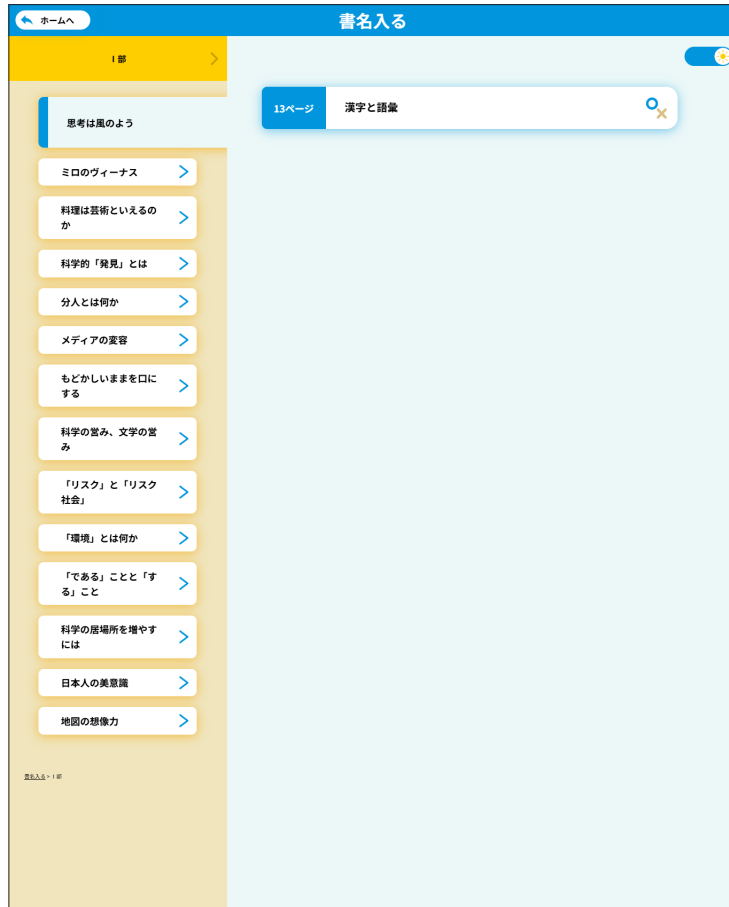
言葉のトレーニング >

探究編 >

附録 >

コンテンツ一覧

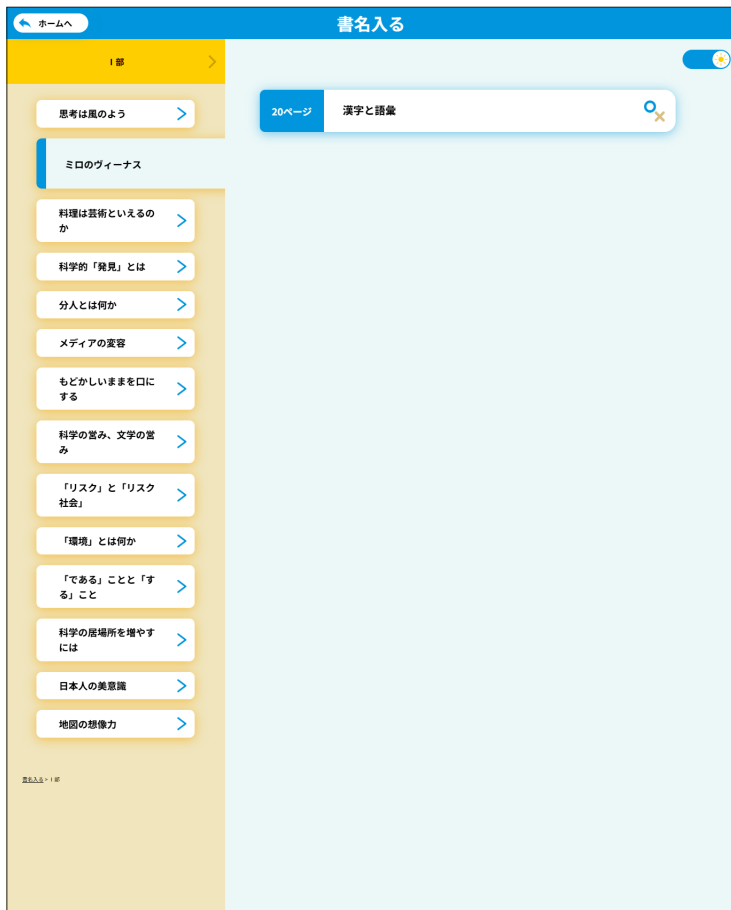
番号 2



13ページ 漢字と語彙 [クイズ]

* 全ての「漢字と語彙 [クイズ]」は同じ仕様であるため、以降のハイライト画面は割愛する。

番号 3



番号 4



番号 5

ホームへ

書名入

1部

思考は星のよう >

ミロのヴィーナス >

料理は芸術といえるのか >

科学的「発見」とは >

分人とは何か >

メディアの変容 >

もどかしいままを口にする >

科学の営み、文学の営み >

「リスク」と「リスク社会」 >

「環境」とは何か >

「である」ことと「すること」 >

科学の居場所を増やすには >

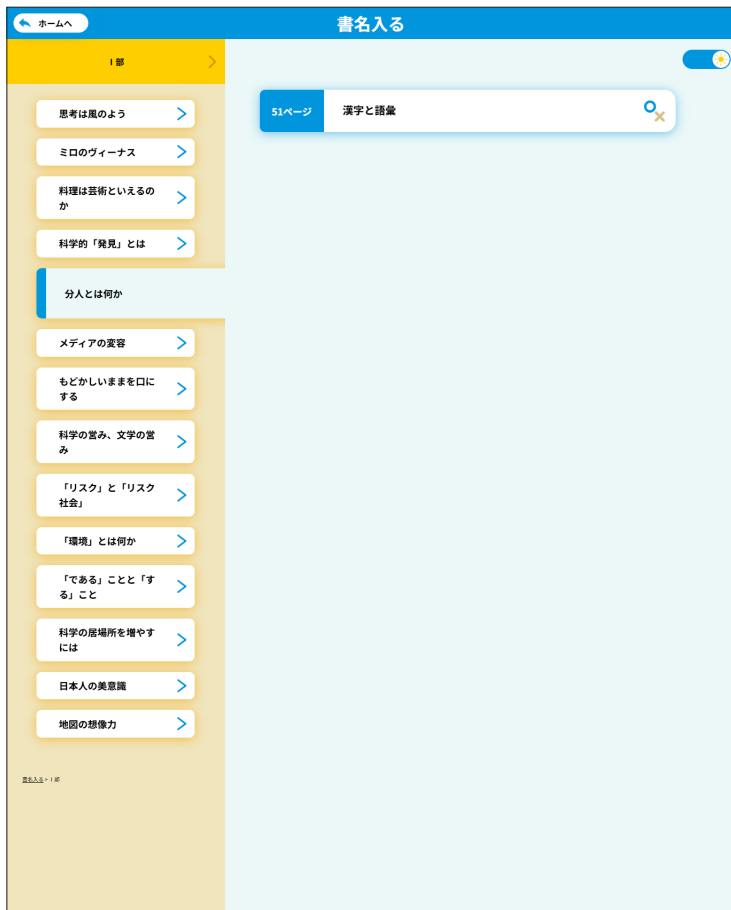
日本人の美意識 >

地図の想像力 >

40ページ 漢字と語彙

2023.10.10

番号 6



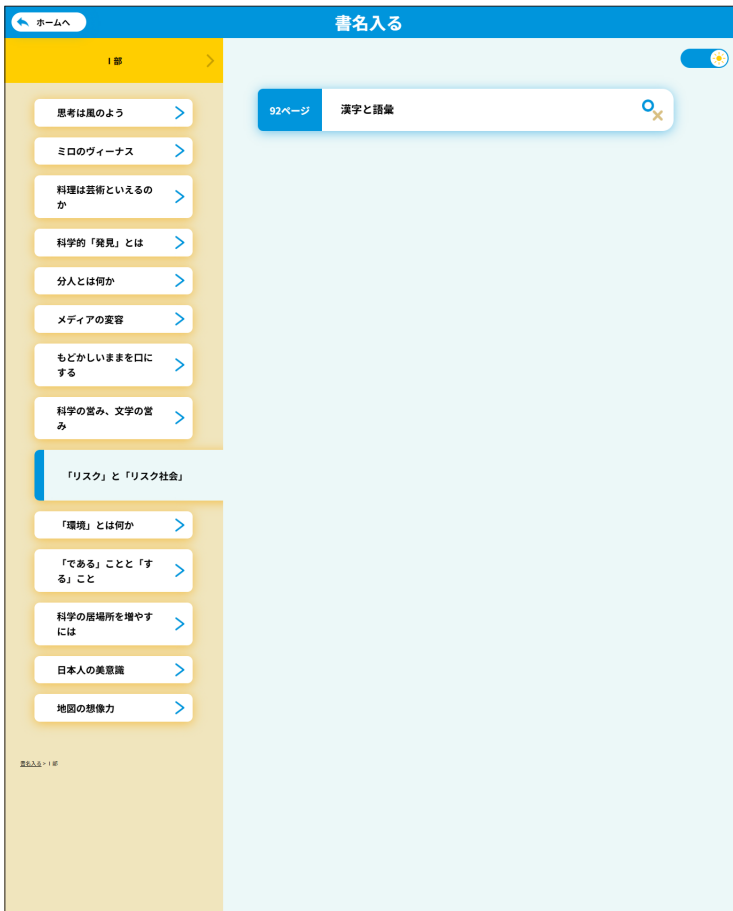
番号 7



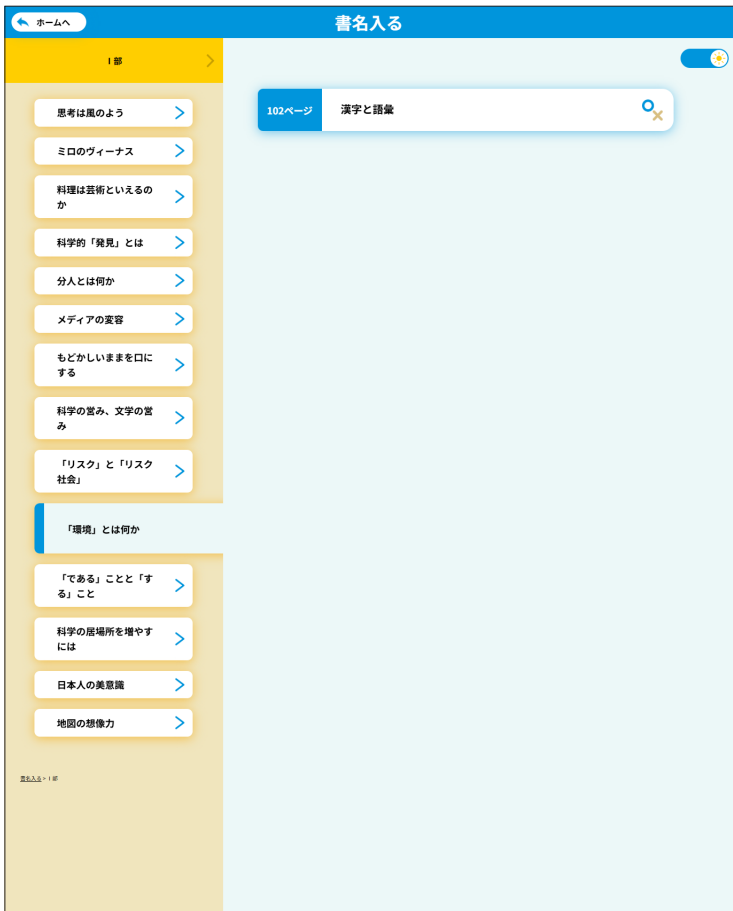
番号 8



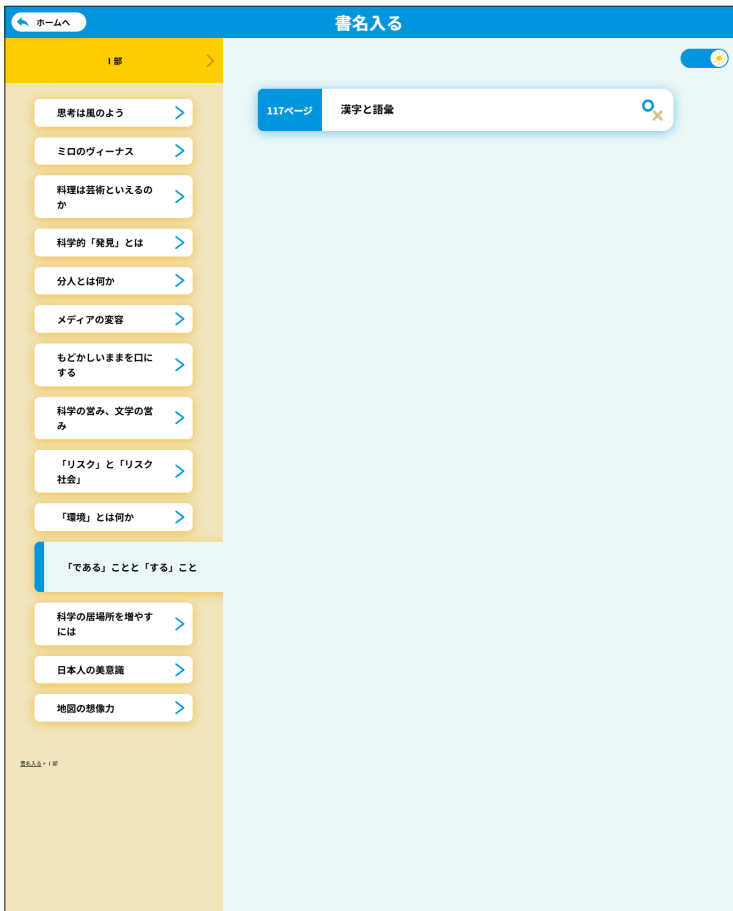
番号10



番号 11



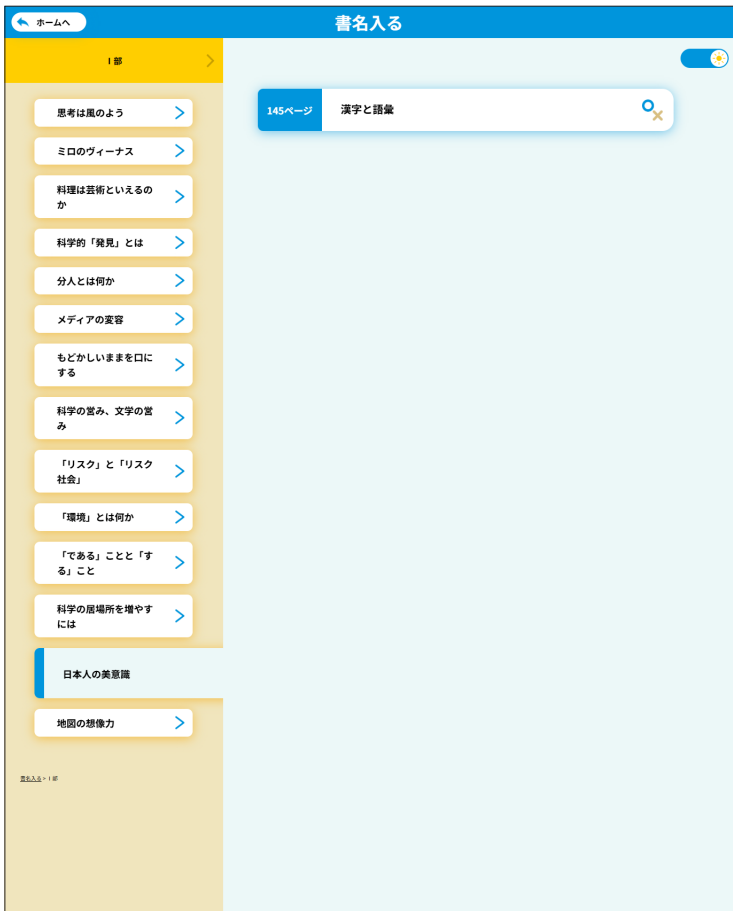
番号 12



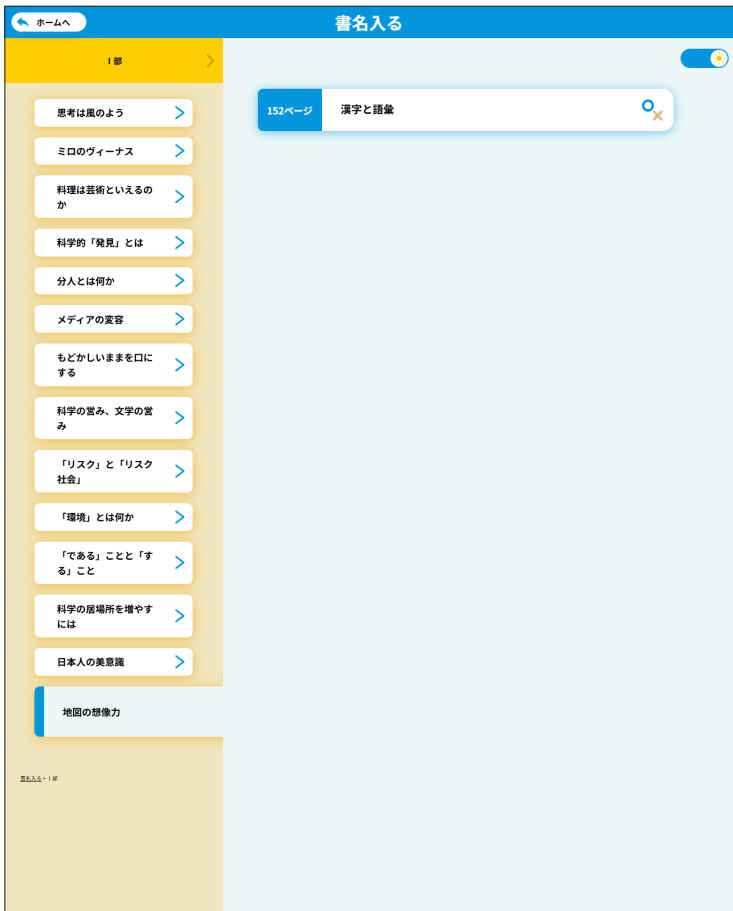
番号 13



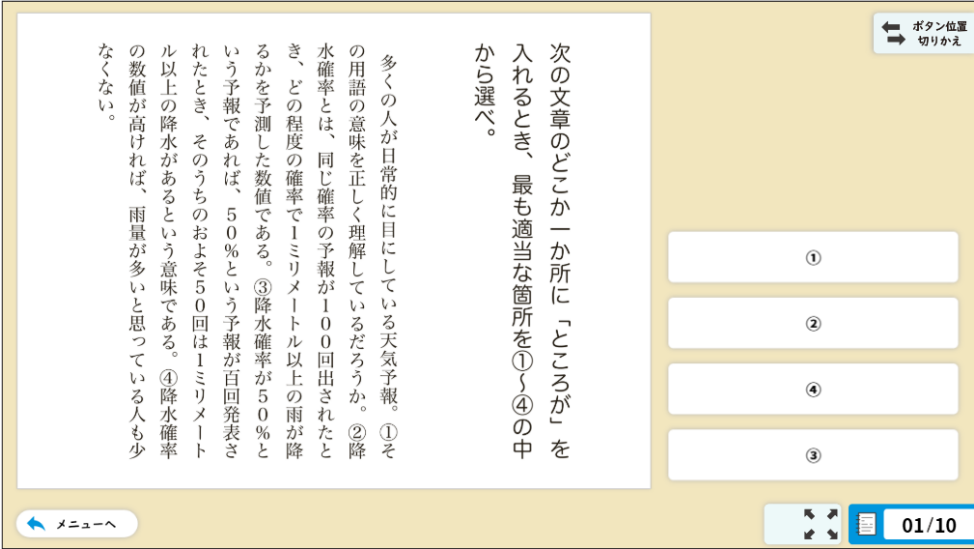
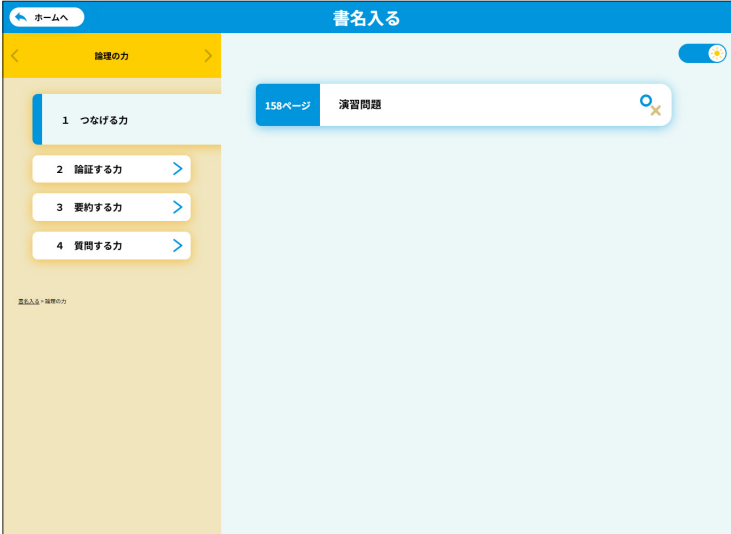
番号14



番号15

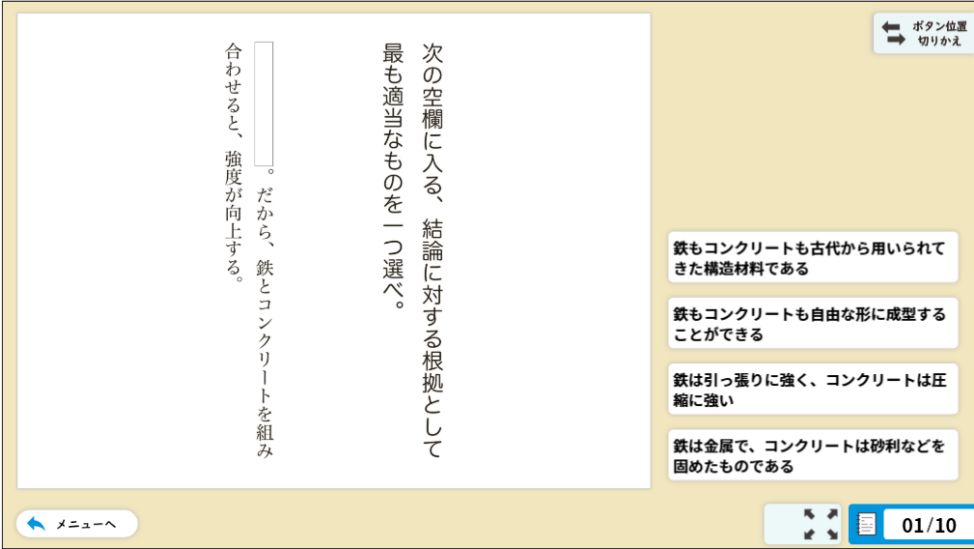
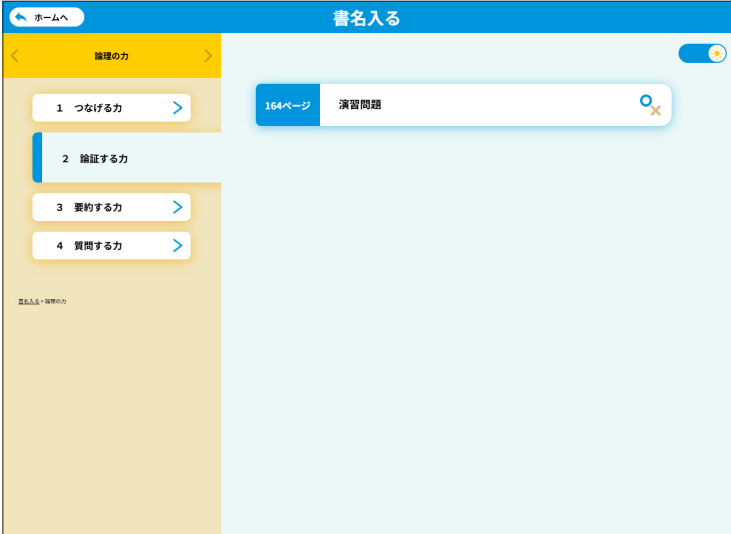


番号16



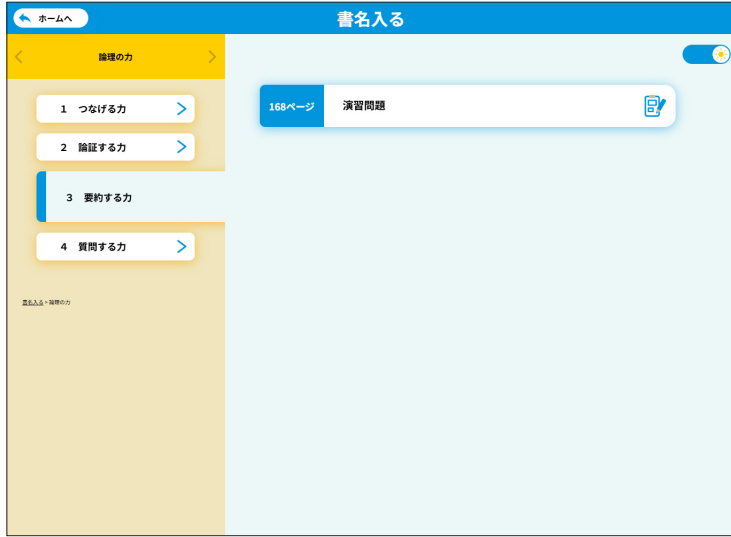
158 ページ 演習問題「クイズ」

番号 17



164 ページ 演習問題 「クイズ」

番号18



168 ページ 演習問題「ワークシート」

要約する力

年 組 番 名前

基本練習シート

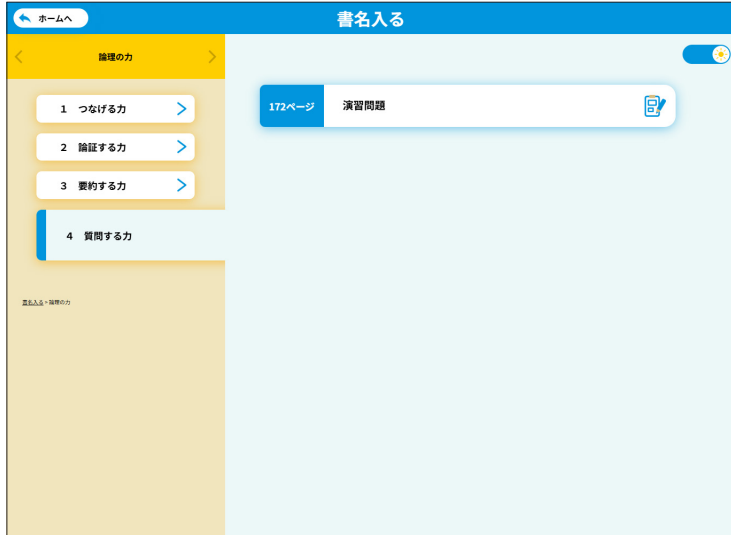
問A 次の文章を、三十字程度で要約しなさい。

職業はどうやって選んだらよいだろうか。最近よく言われるのは、「自分の好きなことを仕事にしよう」である。しかし、例えば、野球が好きだからプロ野球の選手になりたいと思ってもそうそうなれるものでもないし、歌が好きだからといって、みんながみんな歌手としてデビューできるわけではない。したがって、「好きなことを仕事にする」というのは、いささか無理があるように思える。では、どうやって選んだらよいだろう。「世の中の役に立つことをする」という基準で選ぶのである。そうやって選んだ仕事には、「やりがい」というものもついでに、充実した人生を歩むことができる。

問B 次の文章を、三十字程度で要約しなさい。

『論語』は漢文で書かれている。漢文は、文章の構造がとても簡潔であるうえ、文章を構成する漢語の一つ一つには、微妙な意味の違いがある。特に孔子の言葉は、簡潔な中に深い意味を含んでいるので、正しく理解するのがたいへん難しい。よって、『論語』は、一つ一つの言葉をよく吟味しながら読むことが大切である。また、孔子の生きていた二千五百年以上昔の中国と現在の日本とは、社会の状況はかなり違っている。したがって、『論語』を読むにあたって、時代背景をよく理解することも必要である。

番号 19



172ページ 演習問題 「ワークシート」

質問する力

年 組 番 名前

基本練習シート

問A 次の文章を読み、「情報の問い」「意味の問い」「価値の問い」を考えよう。

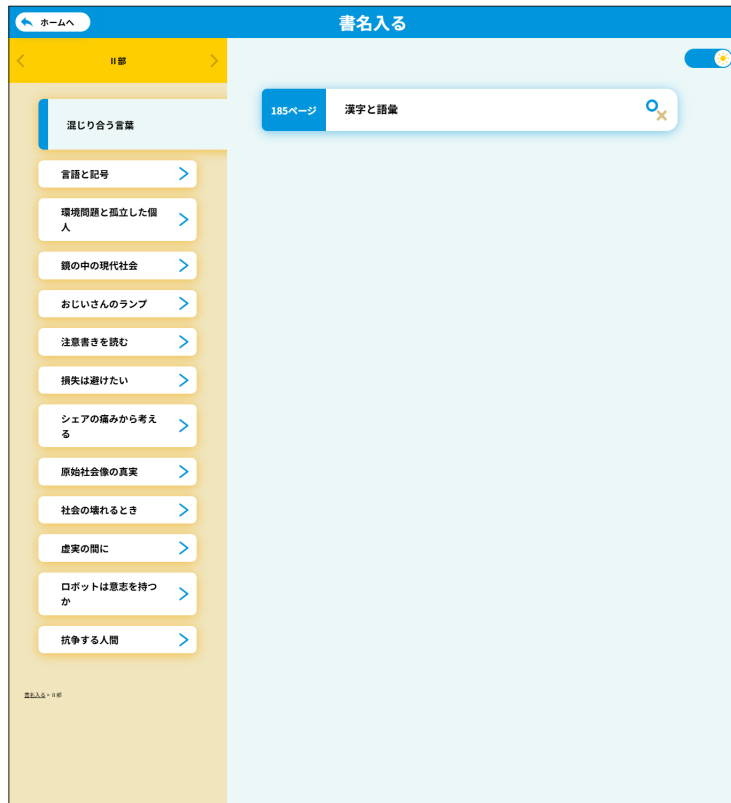
高齢化の進行具合を示す言葉として、高齢化社会、高齢社会、超高齢社会の三つがあります。六十五歳以上の人口が、全人口に対して七パーセントを超えると「高齢化社会」、十四パーセントを超えると「高齢社会」、二十一パーセントを超えると「超高齢社会」とよばれます。日本では、一九七〇年に「高齢化社会」に突入しました。その後高齢化率が急激に上昇して、一九九四年に高齢社会、二〇〇七年に超高齢社会に突入し、現在、世界のどの先進国よりも高い高齢化率となっています。そして、高齢化率は更に上昇すると予測され、二〇四〇年には約三十六パーセント、二〇六〇年には約四十六パーセントに達すると考えられています。

このような急速な高齢化は、医療や福祉の分野に非常に大きな影響を及ぼし、従来の医療制度や老人保険制度では対応しきれない問題が生じてきています。

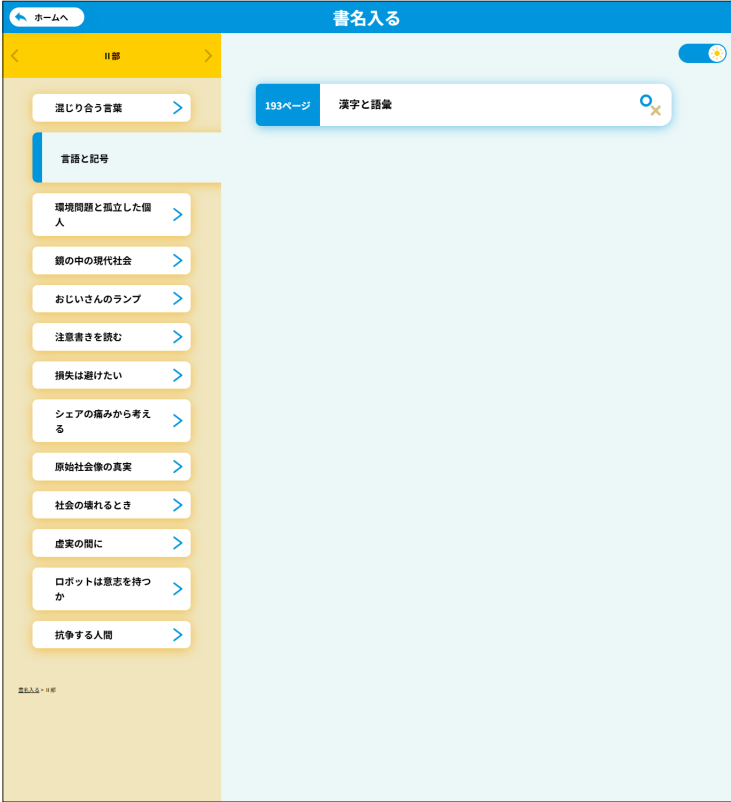
また、現在の日本は核家族が進んでいるため、単独世帯や夫婦のみの世帯、夫婦ともに六十歳以上の世帯が増加しており、特に都市部では、単身者の高齢化率が上昇して、介護できる者がいない、あるいは老人が老人の介護をする世帯が多くなっています。つまり、在宅で介護することが難しくなっているのです。更に、高度経済成長の流れによって、都市部でも地方でも地域社会が崩壊し、地域社会の地縁が失われつつあります。その結果、地域住民どうしの絆が希薄化して孤立する人が多くなり、孤立死の問題も出てきています。

こういった問題を解決するために打ち立てられたのが、「地域包括ケアシステム」です。これは、重度の要介護となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みのことです。このシステムは、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。

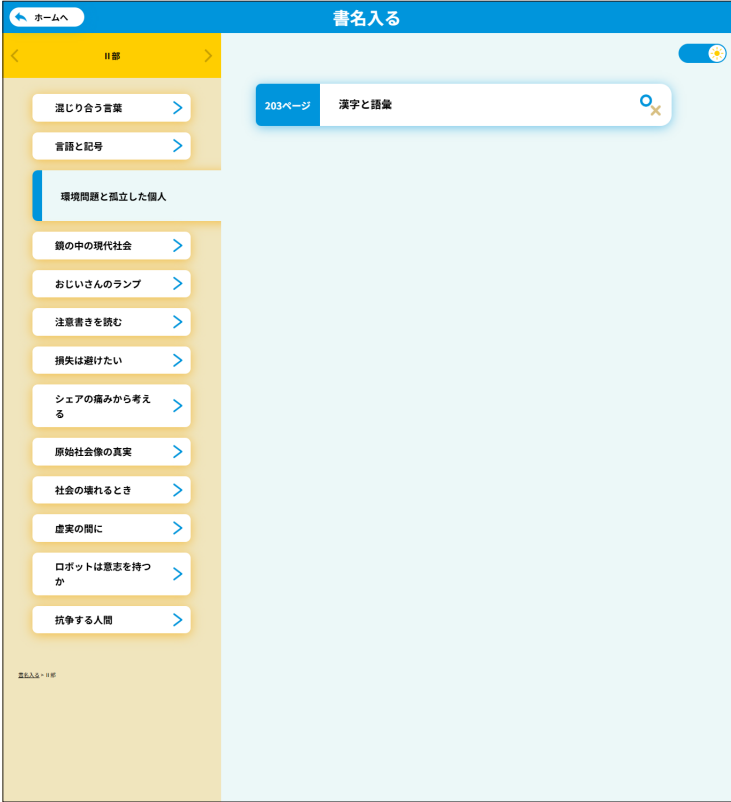
番号 20



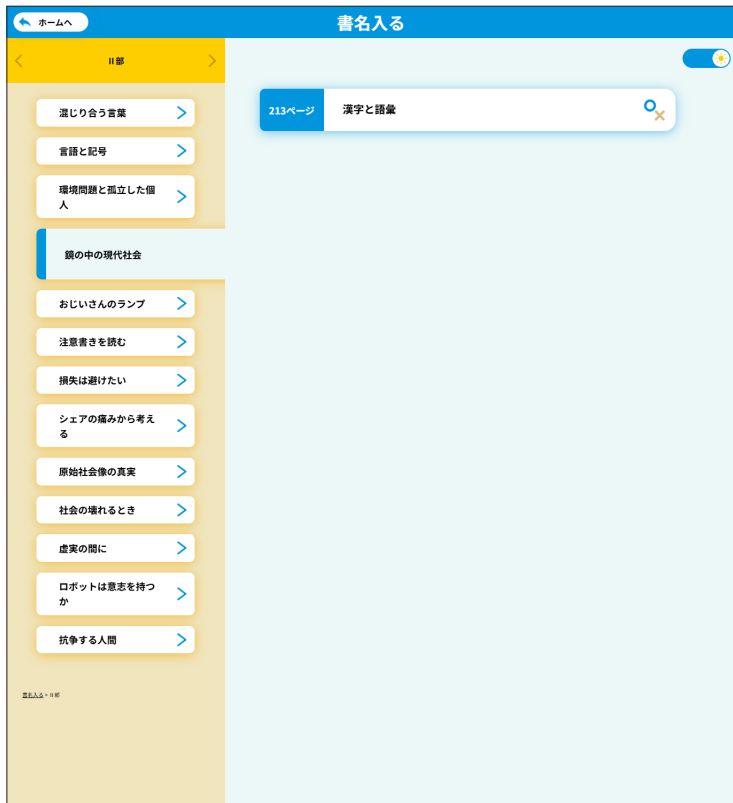
番号 2 1



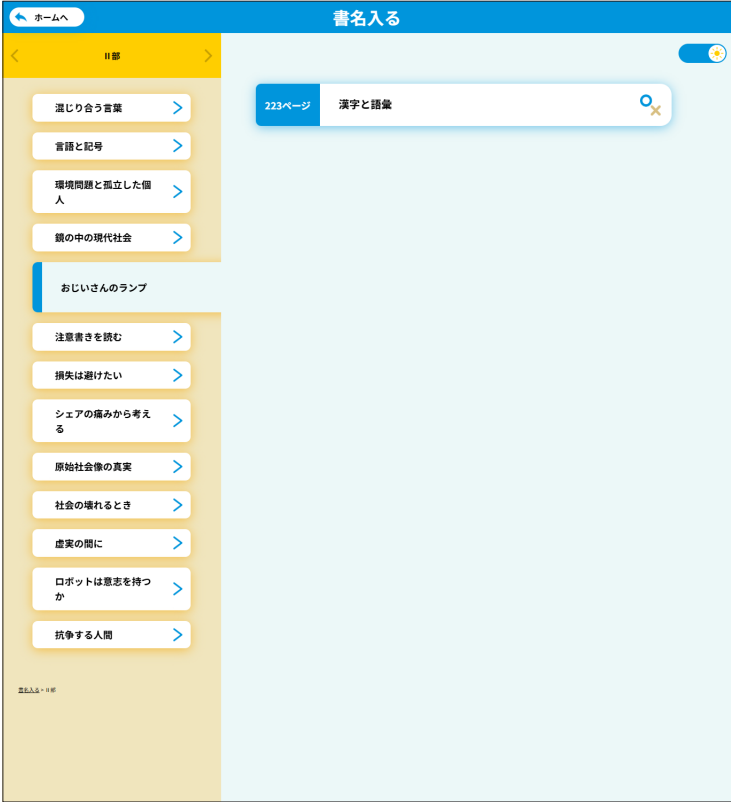
番号 22



番号 23



番号 24



番号 25

